

年 報
(令和3年度実績)

静岡県工業技術研究所

令和5年3月

目 次

1	概 況	
(1)	工業技術研究所の沿革	1
(2)	工業技術研究所全体の事業概要	2
(3)	工業技術研究所及び各工業技術支援センターの施設の概要	4
(4)	工業技術研究所及び各工業技術支援センターの組織図	5
(5)	工業技術研究所及び各工業技術支援センターの職員	8
(6)	工業技術研究所及び各工業技術支援センターの決算	12
(7)	工業技術研究所及び各工業技術支援センターの主要購入機器設備	16
2	事業実績	
(1)	試験研究、調査及び指導事務	17
ア	研究開発	17
(ア)	研究課題	17
(イ)	外部研究員招へい事業	26
(ウ)	特許等の登録及び出願	29
イ	技術相談等	30
(ア)	技術相談	30
(イ)	依頼試験	31
(ウ)	機器使用等	36
(エ)	研究会の育成	37
(オ)	研修生の受入れ	38
ウ	技術情報提供	40
(ア)	研究報告関係	40
(イ)	研究発表会関係	40
(ウ)	研究所情報等の提供	45
(エ)	研究所の事業広報等	45
(オ)	講習会等	46
(カ)	講師活動	50
(キ)	委員派遣	54
(ク)	産業技術連携推進会議等への派遣	66
(ケ)	学会等への発表、外部発行誌等への投稿及び展示会への出展	73
(2)	令和3年度研究成果一覧	82
ア	工業技術研究所	82
イ	沼津工業技術支援センター	89
ウ	富士工業技術支援センター	91
エ	浜松工業技術支援センター	93

1 概 況

(1) 工業技術研究所の沿革

明治39年	3月	「静岡県工業試験場紙業部、漆器部、庶務部」を静岡市追手町に、「染織部」を浜名郡天神町村馬込（現浜松市）に設置し、同年11月に開場
大正2年	12月	「静岡県工業試験場」を静岡市水落町に移転
大正4年	9月	「染織部」を「静岡県工業試験場浜松分場」に改称
大正8年		「浜松分場」を浜松市北寺島町に移転
大正8年	12月	「静岡県工業試験場」を安倍郡豊田村南安東（後瓦場町、現静岡市葵区太田町）に移転
大正9年	2月	「静岡県工業試験場」を「静岡県静岡工業試験場」に、「浜松分場」を「静岡県浜松工業試験場」に改称
昭和12年	11月	「製紙部」を富士郡今泉村（現富士市今泉）に移転、「静岡県製紙工業試験場」を開設
昭和27年	4月	「静岡県浜松工業試験場」を「静岡県浜松繊維工業試験場」に、「静岡県製紙工業試験場」を「静岡県紙業指導所」に改称
昭和28年	1月	「静岡県静岡工業試験場」を静岡市安倍川町（現葵区駒形通5丁目）に移転
昭和32年	4月	「静岡県紙業指導所」を「静岡県製紙工業試験場」に改称
昭和36年	4月	「静岡県静岡工業試験場」を「静岡県工業試験場」に改称
昭和36年	6月	「静岡県工業試験場浜松分場」を浜松市小池町に設置
昭和38年	1月	「静岡県工業試験場浜松分場」を「静岡県機械技術指導所」と改称
昭和38年	12月	「静岡県製紙工業試験場」を吉原市伝法（後富士市伝法、現富士市永田北町）に移転
昭和42年	6月	「静岡県浜松繊維工業試験場福田技術指導所」を磐田郡福田町（現磐田市大原）に開所
昭和57年	11月	「静岡県工業試験場」を現在地（静岡市葵区牧ヶ谷）に移転
昭和59年	4月	「静岡県工業試験場」を「静岡県工業技術センター」に改称
平成2年	4月	「静岡県工業技術センター」を「静岡県静岡工業技術センター」に改称 「沼津工業技術センター」を現在地（沼津市大岡）に開設
平成3年	4月	「静岡県製紙工業試験場」を現在地（富士市大淵）に移転し、機械・電子部門を加え、「静岡県富士工業技術センター」に改称 「静岡県浜松繊維工業試験場」と「静岡県機械技術指導所」を統合し、光・電子部門を加え、「静岡県浜松工業技術センター」として現在地（浜松市北区新都田1丁目）に移転、開設
平成19年	4月	「沼津・富士・静岡・浜松工業技術センター」を統合し、「静岡県工業技術研究所」とし、「沼津・富士・浜松工業技術センター」を「工業技術支援センター」と名称変更

(2) 工業技術研究所全体の事業概要

地域産業に最も近い技術支援機関として、研究開発、依頼試験・設備使用、技術相談・人材育成、技術情報の提供、産学官連携の促進や周辺地域の公設試験研究機関との連携強化等を通じて、ものづくりを行う県内中小企業の技術開発や課題解決を支援している。

特に、地域に根ざした産業や県の産業振興施策である先端産業育成プロジェクトをはじめとする集積を目指す産業分野の技術（光・照明・音響、製紙、バイオテクノロジー、食品、環境エネルギー、生活製品）、工業全般の基礎となる技術（金属材料、高分子材料、機械・電子、情報通信）において、地域産業の振興、新たな産業の創出などの基礎となる技術力の向上を支援している。

近年は、急速な人口減少による人手不足の顕在化や自動運転などの著しい技術革新への対応など、中小企業を取り巻く環境は大きく変化しており、企業ニーズに対応した支援を推進するため、生産性向上を目的としたI o Tに関する研究支援、電気自動車を始めとする次世代自動車に関する研究支援、新たな素材として期待されるセルロースナノファイバー（CNF）に関する研究支援について、工業技術研究所の各機関が連携した取組を進めている。

県内産業界を一体的に技術支援できる組織体制とするため、平成19年度には沼津・富士・静岡・浜松工業技術センターを統合し、工業技術研究所（静岡市）とし、その下に沼津・富士・浜松工業技術支援センターを配置した。

平成24年9月には工業技術研究所全体で、文部科学省から科研費応募資格を有する研究機関としての指定を受け、企業支援のための技術力向上に努めている。

さらに、これまでの窓口相談を拡充し、研究所及び各工業技術支援センターに平成26年3月から海外展開支援を含めた「ものづくり産業支援窓口」を開設したほか、商工会議所・商工会等との連携により、研究員が直接企業に出向く出張相談の強化や遠隔地での相談に対応する臨時窓口を設置するようにした。さらに、平成28年10月にはデザイン相談窓口を開設し、デザインに関する相談やデザイナーとのマッチング等の支援を強化した。

これらにより、企業が取り組む研究開発、製品設計・生産、品質管理における技術課題の解決のための支援が強化された。

○ 主要事業

ア 研究開発

新成長戦略研究、経常研究、共同研究、受託研究を行い、地域産業の技術基盤の強化や先端技術の開発による産業支援を行う。

イ 依頼試験・設備使用

地域企業の新製品開発や性能評価のため、依頼試験や試験機器・施設等を開放し、技術支援を行う。

ウ 技術相談・人材育成

中小企業の技術相談や各種研修会・講習会を開催し、地域産業の技術力向上に努める。

エ 技術情報の提供

研究所のウェブサイトやメールマガジン、センターニュース、また各種技術講演会を通じて、地域の中小企業を中心に、製造技術や製品開発に必要な技術情報を提供する。

オ 産学官連携の促進

静岡県工業技術研究所産学官連携推進コーディネータを配置し、地域企業の技術情報の共有化や研究開発の支援などを通じた地域企業、大学、支援機関との連携強化を図っている。

他県の公設試験研究機関との連携を密にするため、関東経済産業局管内の首都圏公設試験研究機関連携体（首都圏テクノナレッジ・フリーウェイ（TKF））や、中部経済産業局管内の中部イノベネットに参画し、情報交換や広域連携による域内企業の支援強化を進めている。また、関東甲信越静地域の公設試が連携して中小企業の海外展開を支援する組織（広域首都圏輸出製品技術支援センター（MTEP））に参加し、域内企業の海外進出を技術面から支援している。

カ 先端産業創出プロジェクト等の推進

先端産業創出プロジェクト（ファルマバレープロジェクト、フーズ・ヘルスケアオープンイノベーションプロジェクト、フotonバレープロジェクト、次世代自動車プロジェクト、ふじのくにCNFプロジェクト、マリンバイオオープンイノベーションプロジェクトなど）による産業イノベーション拠点の形成事業や中小企業の成長分野への進出を支援する新成長産業戦略的育成事業と相互に連携することにより、新技術・新製品の開発を促進する。

(3) 工業技術研究所及び各工業技術支援センターの施設の概要

ア 工業技術研究所(静岡市)

(ア) 敷地面積	23, 157 m ²	
(イ) 建築面積	7, 659 m ²	
(ウ) 延床面積	13, 091 m ²	
○管理棟	鉄筋コンクリート4階建	2, 250 m ² (管理部門)
○研究棟	鉄筋コンクリート4階建	4, 130 m ² (研究部門)
○研修棟	鉄筋コンクリート平屋建	270 m ² (講習・研修施設)
○実験棟	鉄骨平屋建	2, 719 m ² (実験施設)
○開放棟	鉄筋コンクリート3階建	1, 680 m ² (開放試験・共同研究施設等)
○資料館	鉄筋コンクリート2階建	460 m ²
○付属棟		1, 582 m ² (設備棟・薬品庫等)

イ 沼津工業技術支援センター(沼津市)

(ア) 敷地面積	19, 958 m ²	
(イ) 建築面積	3, 892 m ²	
(ウ) 延床面積	6, 219 m ²	
○管理・研究・開放棟	鉄筋コンクリート3階建	4, 384 m ² (管理・研究部門、開放試験)
○実験棟	鉄筋コンクリート平屋建	648 m ² (実験施設)
○付属棟		305 m ² (廃水処理施設等)
○インキュベートセンター	鉄骨平屋建	882 m ²

ウ 富士工業技術支援センター(富士市)

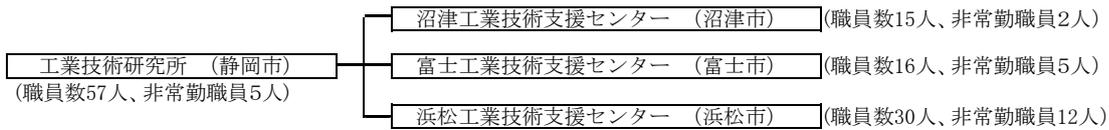
(ア) 敷地面積	20, 075 m ²	
(イ) 建築面積	4, 433 m ²	
(ウ) 延床面積	8, 801 m ²	
○管理・研究・開放棟	鉄筋コンクリート3階建	5, 346 m ² (管理・研究部門、開放試験)
○実験棟	鉄筋コンクリート3階建	2, 414 m ² (実験施設)
○付属施設		165 m ² (車庫・駐輪場等)
○インキュベートセンター	鉄骨平屋建	876 m ²

エ 浜松工業技術支援センター(浜松市)

(ア) 敷地面積	28, 238 m ²	
(イ) 建築面積	5, 792 m ²	
(ウ) 延床面積	11, 142 m ²	
○管理研究棟	鉄筋コンクリート4階建	5, 023 m ² (管理・研究部門)
○開放棟	鉄筋コンクリート2階建	1, 276 m ² (開放試験・共同研究・講習研修施設)
○実験棟	鉄筋コンクリート2階建	3, 309 m ² (実験施設)
○付属棟		128 m ² (排水処理施設・薬品庫等)
○車載機器EMCテストサイト	鉄骨平屋建	531 m ² (実験施設)
○インキュベートセンター	鉄骨平屋建	875 m ²

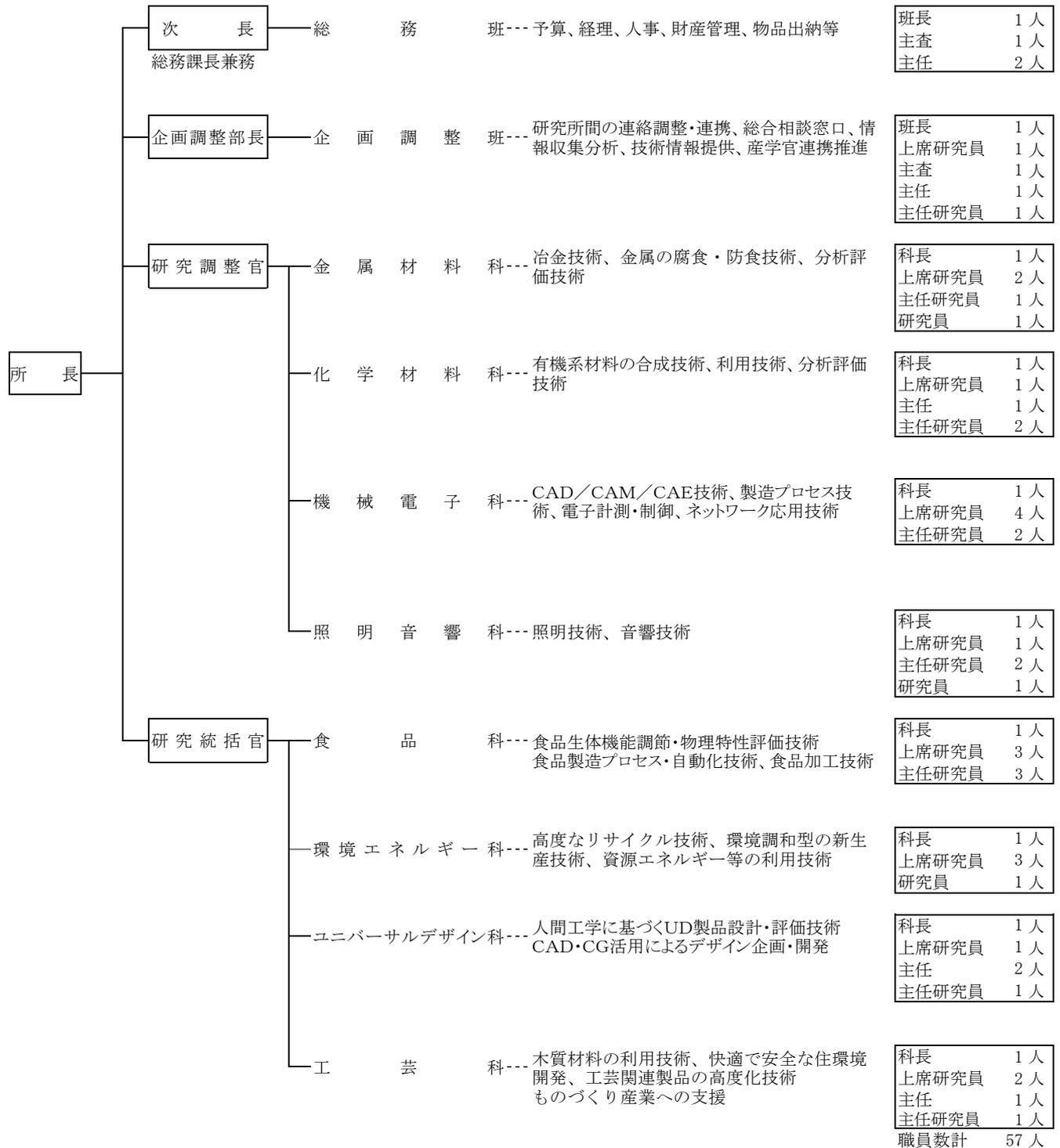
(4) 組織図

令和3年4月1日現在の工業技術研究所の組織及び業務分担は、次のとおりである。
職員総数は事務職員11人、技術職員100人、再任用職員7人、非常勤職員24人の計142人である。



ア 工業技術研究所 (静岡市)

職員数は事務職員5人、技術職員48人、再任用職員4人、非常勤職員5人の計62人である。



班長	1人
主査	1人
主任	2人

班長	1人
上席研究員	1人
主査	1人
主任	1人
主任研究員	1人

科長	1人
上席研究員	2人
主任研究員	1人
研究員	1人

科長	1人
上席研究員	1人
主任	1人
主任研究員	2人

科長	1人
上席研究員	4人
主任研究員	2人

科長	1人
上席研究員	1人
主任研究員	2人
研究員	1人

科長	1人
上席研究員	3人
主任研究員	3人

科長	1人
上席研究員	3人
研究員	1人

科長	1人
上席研究員	1人
主任	2人
主任研究員	1人

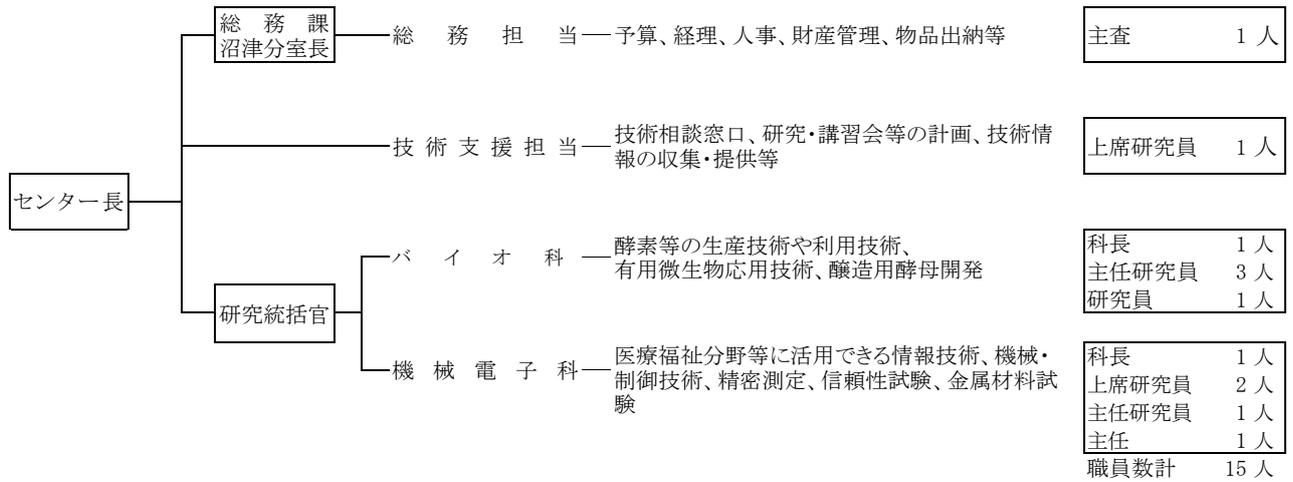
科長	1人
上席研究員	2人
主任	1人
主任研究員	1人
職員数計	57人

(その他非常勤職員等)

職名	人数
非常勤職員	5人

イ 沼津工業技術支援センター(沼津市)

職員数は事務職員 2 人、技術職員12人、再任用職員 1 人及び会計年度任用職員 2 人の計17人である。

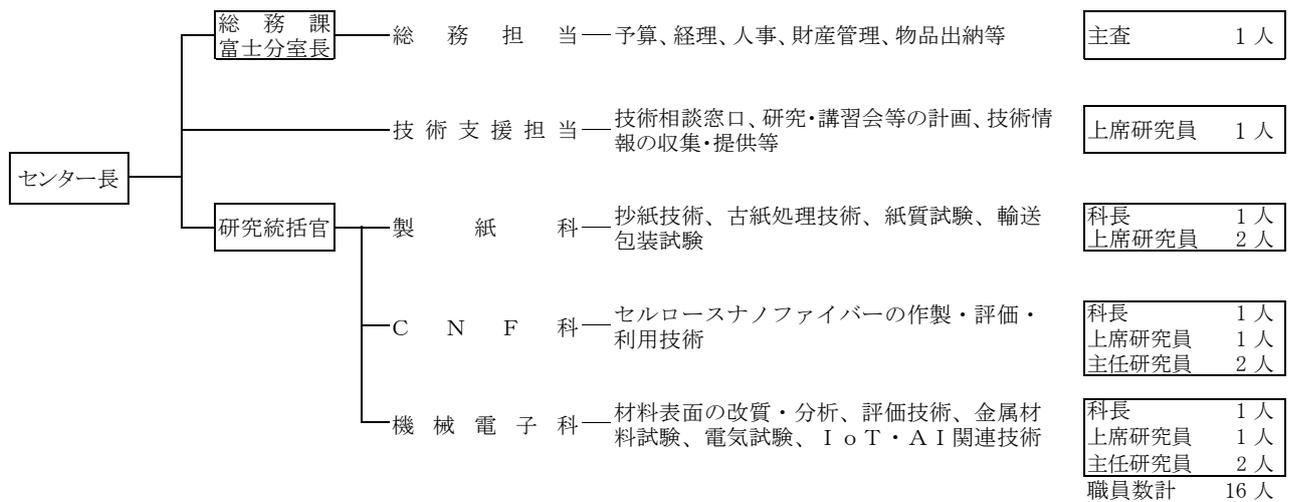


(その他会計年度任用職員等)

職名	人数
会計年度任用職員	2人

ウ 富士工業技術支援センター(富士市)

職員数は事務職員 2 人、技術職員14人及び非常勤職員 5 人の計21人である。

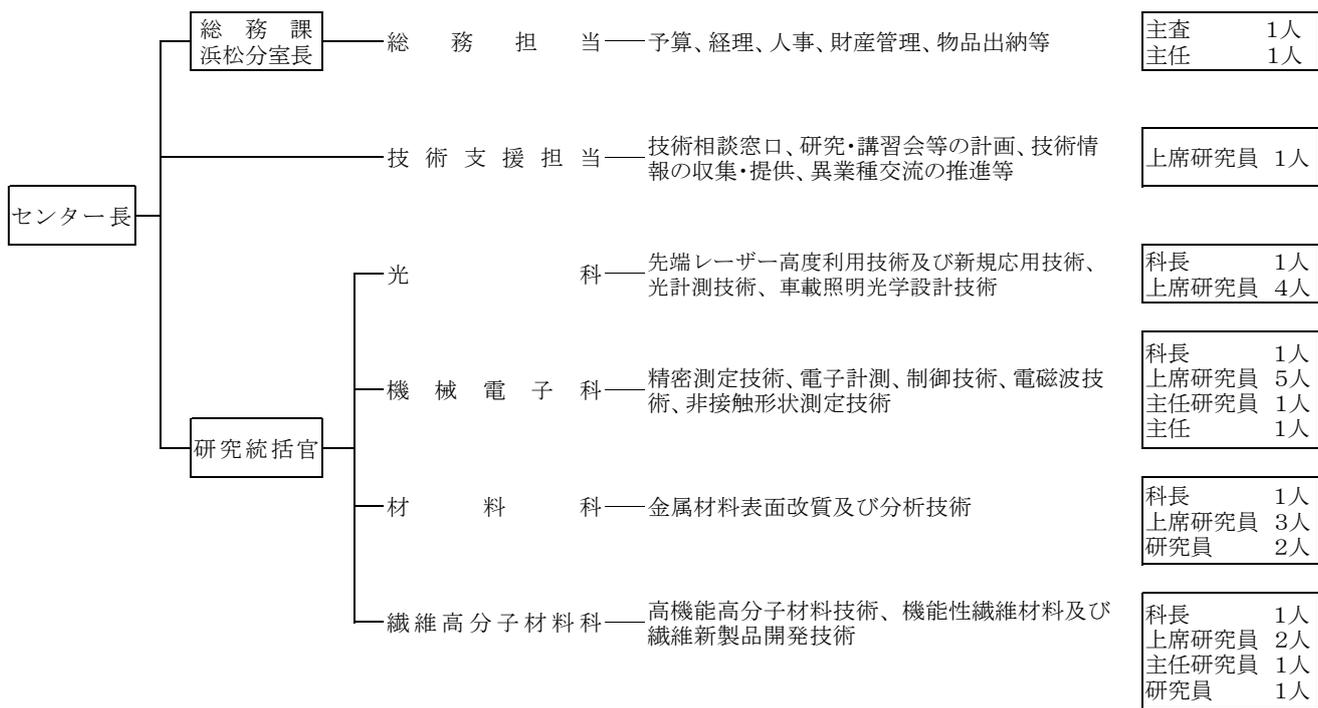


(その他会計年度任用職員等)

職名	人数
会計年度任用職員	5人

エ 浜松工業技術支援センター（浜松市）

職員数は事務職員 2 人、技術職員26人、再任用職員 2 人、会計年度任用職員12人の計42人である。



職員数計 30人

(その他会計年度任用職員等)

職名	人数
会計年度任用職員	12人

(5) 工業技術研究所及び各工業技術支援センターの職員

ア 工業技術研究所

部課科スタッフ	事務職員	技術職員	会計年度任用職員 臨時職員	部課科スタッフ	事務職員	技術職員	会計年度任用職員 臨時職員
所長		1		化学材料		5	
次長兼総務課長	1			機械電子		7	
企画調整部長		1		照明音響		4	
研究統括官		1		食品		7	
研究調整官		1		環境エネルギー		5	
総務課	3	1		ユニバーサルデザイン		5	
企画調整部	2	3	3	工芸		5	2
金属材料		5		計	6	51	5

職員名簿

組 織	職 名	氏 名	組 織	職 名	氏 名	
所 長		杉山 直人		科 長	木野 直樹	
総務課	次長兼課	鈴木 加江	照明音響科	上席研究員	豊田 敏裕	
	班 長(事)	糸田 昇一		主任研究員	柳原 亘	
	主 査(事)	執行 賀名子		研究員	田代 友範	
	主 任(事)	武田 府美緒		研究統括官	田中 伸佳	
	主 任(技)	一瀬 将平	食品科	科 長	山下 里恵	
企画調整部	部 長	鈴木 敬明		上席研究員	渡瀬 隆也	
	班 長	油上 保		上席研究員	浅沼 俊倫	
	上席研究員	増井 裕久		上席研究員	松野 正幸	
	主 査(事)	白輪 真也		主任研究員	袴田 雅俊	
	主 任(事)	笠井 慶子		主任研究員	長房 秀幸	
	主任研究員	望月 智文		主任研究員	石橋 佳奈	
会計年度任用職員 3名				環境 エネルギー科	科 長	太田良 和弘
研究調整官	中山 洋	上席研究員			鈴木 光彰	
金属材料科	科 長	長谷川 和宏			上席研究員	岡本 哲志
	上席研究員	岩澤 秀	上席研究員		室伏 敬太	
	上席研究員	鈴木 洋光	研究員	井口 大輔		
	主任研究員	田中 宏樹	ユニバーサルデ ザイン科	科 長	小松 剛	
	研究員	望月 玲於		上席研究員	陽東 強	
化学材料科	科 長	真野 毅		主 任(技)	多々良 哲也	
	上席研究員	菅野 尚子		主 任(技)	深谷 謙一	
	主 任(技)	菅沼 広行	主任研究員	大賀 久美		
	主任研究員	稲葉 彩乃	工芸科	科 長	長澤 正	
	主任研究員	小泉 雄輔		上席研究員	村松 重緒	
機械電子科	科 長	赤堀 篤		上席研究員	渡邊 雅之	
	上席研究員	望月 紀寿		主 任(技)	八木 淳一	
	上席研究員	望月 建治		主任研究員	菊池 圭祐	
	上席研究員	大澤 洋文	会計年度任用職員 2名			
	上席研究員	竹居 翼	(事)は事務職員、(技)及びその他は技術職員 (会計年度任用職員を除く)			
	主任研究員	松下 五樹				
主任研究員	岩崎 清斗					

イ 沼津工業技術支援センター

課科スタッフ	事務職員	技術職員	会計年度任用職員
センター長		1	
研究統括官		1	
分室長	1		
総務担当	1		1
技術支援担当		1	
バイオ		5	
機械電子		5	1
計	2	13	2

職員名簿

組 織	職名	氏 名	組 織	職名	氏 名
センター長		大川 勝正	機械電子科	科 長	本多 正計
研究統括官		鬼久保 郁雄		上席研究員	岡田 慶雄
総務課分室長 (事)		神谷 弘樹		上席研究員	船井 孝
総務担当	主 査 (事)	小泉 由美		主 任 (技)	佐藤 廣美
	会計年度任用職員	1名		主任研究員	是永 宗祐
技術支援担当	上席研究員	飯塚 千佳世		会計年度任用職員	1名
バイオ科	科 長	岩原 健二	(事)は事務職員、その他は技術職員(会計年度任用職員を除く)		
	主任研究員	勝山 聡			
	主任研究員	高木 啓詞			
	主任研究員	鈴木 雅博			
	研究員	横澤 賢			

ウ 富士工業技術支援センター

課科スタッフ	事務職員	技術職員	会計年度任用職員
センター長		1	
研究統括官		1	
分室長	1		
総務担当	1		1
技術支援担当		1	
製紙		3	3
CNF		4	1
機械電子		4	
計	2	14	5

職員名簿

組 織	職名	氏 名	組 織	職名	氏 名
センター長		佐野 禎彦	CNF科	科 長	大竹 正寿
研究統括官		飯野 修		上席研究員	田中 翔悟
総務課分室長 (事)		高松 彰		主任研究員	河部 千香
総務担当	主 査(事)	長野 佐和子		主任研究員	前田 研司
	会計年度任用職員	1名		会計年度任用職員	1名
技術支援担当	上席研究員	三宅 健司	機械電子科	科 長	本間 信行
製紙科	科 長	杉本 芳邦		上席研究員	高木 誠
	上席研究員	深沢 博之		主任研究員	中島 大介
	上席研究員	齊藤 和明		主任研究員	井出 達樹
	会計年度任用職員	3名		(事)は事務職員、その他は技術職員(会計年度任用職員を除く)	

エ 浜松工業技術支援センター

課科	事務職員	技術職員	会計年度任用職員
センター長		1	
研究統括官		1	
分室長	1		
総務担当	2		1
技術支援担当		1	2
光		5	
機械電子		8	2
材料		6	4
繊維高分子材料		4	3
合計	3	26	12

職員名簿

組 織	職名	氏 名	組 織	職名	氏 名
センター長		松田 稔	機械電子科	上席研究員	上野 貴康
研究統括官		宮原 鐘一		主 任	長谷川 茂
総務課分室長(事)		橋本 充夫		主任研究員	鈴木 悠介
総務担当	主 査(事)	内藤 由衣希	会計年度任用職員 2名		
	主 任(事)	増田 敏之	材料科	科 長	木野 浩成
会計年度任用職員 1名				上席研究員	吉岡 正行
技術支援担当	上席研究員	及川 貴康		上席研究員	田光 伸也
	会計年度任用職員 2名			上席研究員	植松 俊明
光科	科 長	植田 浩安		研究員	長田 貴将
	上席研究員	鷺坂 芳弘	研究員	小粥 基晴	
	上席研究員	山下 清光	会計年度任用職員 4名		
	上席研究員	中野 雅晴	繊維高分子材料科	科 長	鈴木 一之
	上席研究員	志智 亘		上席研究員	針幸 達也
機械電子科	科 長	渥美 博安		主任研究員	鈴木 重好
	上席研究員	増田 康利		主任研究員	森田 達弥
	上席研究員	山田 浩文		研究員	大木 結以
	上席研究員	太田 幸宏	会計年度任用職員 3名		
上席研究員	長津 義之	(事)は事務職員、その他は技術職員(会計年度任用職員を除く)			

(6) 工業技術研究所及び各工業技術支援センターの決算

ア 工業技術研究所

(ア) 歳入

(単位：円)

科 目	調 定 額	収 入 額	収入未済額	備 考
使用料・手数料	24,480	24,480 (証紙42,858,510)	0	
財産収入	155,100	155,100	0	
諸 収 入	12,538,380	12,538,380	0	
計	12,717,960	12,717,960 (証紙42,858,510)	0	

(イ) 歳出 (人件費を除く)

(単位：円)

科 目	令 達 額	支 出 額	残 額	備 考
経営管理費	9,063,722	9,063,722	0	
スポーツ・文化観光費	2,360	2,360	0	
健康福祉費	26,220	26,220	0	
経済産業費	315,710,315	315,710,315	0	
計	324,802,617	324,802,617	0	

歳出内訳

○経営管理費	経営管理費	9,063,722 円
○スポーツ・文化観光費	スポーツ費	2,360 円
○健康福祉費	感染症対策費	26,220 円
○経済産業費	経済産業費	716,970 円
	産業革新費	119,111,306 円
	商工業費	195,882,039 円

(ウ) 国庫補助等

(単位：円)

補助金等の名称	県 事 業 名	事業費
科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 (独立行政法人 日本学術振興会)	公募競争型資金活用研究事業費	4,118,379
省エネルギー等に関する国際標準の獲得・普及促進事業委託費 (省エネルギー等国際標準開発 (国際電気標準分野)) (経済産業省)	工業技術研究所試験研究費	1,258,968
公設工業試験研究所等における機械設備拡充補助事業 ((公財) J K A)	機械工業育成機器整備事業費 (機器名：走査型電子顕微鏡)	29,700,000
課題提案型研究助成 (公益財団法人スズキ財団)	工業技術研究所試験研究費	399,300
研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム (国立研究開発法人 科学技術振興機構)	工業技術研究所試験研究費	260,000
試作品開発助成事業 (次世代自動車) (公益財団法人静岡県産業振興財団)	フーズ・サイエンスヒルズプロジェクト推進事業	100,000

イ 沼津工業技術支援センター

(ア) 歳入

(単位：円)

科 目	調 定 額	収 入 額	収入未済額	不納欠損額	備 考
使用料・手数料	1,444,680	1,444,680 (証紙11,968,930)	0	0	
財 産 収 入	78,804	78,804	0	0	
諸 収 入	3,726,795	3,726,795	0	0	
計	5,250,279	5,250,279 (証紙11,968,930)	0	0	

(イ) 歳出 (人件費を除く)

(単位：円)

科 目	令 達 額	支 出 額	残 額	備 考
経営管理費	3,137,619	3,137,619	0	
スポーツ・文化観光	10,710	10,710	0	
経済産業費	92,080,080	92,080,080	0	
計	95,228,409	95,228,409	0	

歳出内訳

○経営管理費	経営管理費	3,137,619 円
○スポーツ・文化観光費	スポーツ費	10,710 円
○経済産業費	経済産業費	7,040 円
	産業革新費	16,378,503 円
	商工業費	75,694,537 円

(ウ) 国庫補助等

(単位：円)

補助金等の名称	県 事 業 名	事業費
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 (厚生労働省)	中小企業 I o T活用促進事業	1,453,210

ウ 富士工業技術支援センター

(ア) 歳入

(単位：円)

科 目	調 定 額	収 入 額	収入未済額	備 考
使用料・手数料	2,796,550	2,796,550 (証紙 11,969,310)	0	
財 産 収 入	114,999	114,999	0	
諸 収 入	2,629,247	2,629,247	0	
計	5,540,796	5,540,796 (証紙 11,969,310)	0	

(イ) 歳出 (人件費を除く)

(単位：円)

科 目	令 達 額	支 出 額	残 額	備 考
経営管理費	3,481,749	3,481,749	0	
スポーツ・文化観光費	860	860	0	
経済産業費	102,807,091	102,807,091	0	
計	106,289,700	106,289,700	0	

歳出内訳

○経営管理費	経営管理費	3,481,749 円
○スポーツ・文化観光費	スポーツ費	860 円
○経済産業費	経済産業費	4,900 円
	産業革新費	4,541,123 円
	商工業費	98,261,068 円

(ウ) 国庫補助等

(単位：円)

補助金等の名称	県 事 業 名	事業費
科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 (独立行政法人 日本学術振興会)	公募競争型資金活用研究事業費	637,800

エ 浜松工業技術支援センター

(ア) 歳入

(単位：円)

科 目	調 定 額	収 入 額	収入未済額	備 考
使用料・手数料	3,462,624	3,462,624 (証紙 72,862,970)	0	
財 産 収 入	519,200	519,200	0	
諸 収 入	6,701,166	6,701,166	0	
計	10,682,990	10,682,990 (証紙 72,862,970)	0	

(イ) 歳出 (人件費を除く)

(単位：円)

科 目	令 達 額	支 出 額	残 額	備 考
経営管理費	4,157,401	4,157,401	0	
経済産業費	254,432,644	254,432,644	0	
計	258,590,045	258,590,045	0	

歳出内訳

○経営管理費	経営管理費	4,157,401 円
○経済産業費	経済産業費	50,430 円
	産業革新費	42,096,048 円
	商工業費	212,286,166 円

(ウ) 国庫補助等

(単位：円)

補助金等の名称	県 事 業 名	事業費
科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 (独立行政法人 日本学術振興会)	工業技術研究所試験研究	1,040,000
公設工業試験研究所等における機械設備 拡充補助事業 (公益財団法人 J K A)	工業技術研究所試験検査機器整備事業 (機器名：蛍光 X 線膜厚測定分析装置)	25,168,000 (16,778,666)
研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム (国立研究開発法人 科学技術振興機構)	工業技術研究所試験研究	400,000
戦略的基盤技術高度化支援事業 (関東経済産業局)	工業技術研究所試験研究	600,743
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨 時交付金 (厚生労働省)	中小企業 I o T 活用促進事業	1,428,350

()内の数字は、事業費のうちの補助額。

(7) 工業技術研究所及び各工業技術支援センターの主要購入機器設備 (金額1,000千円以上)

品名	所属	購入金額 (千円)	事業名	区分
Industry4.0トレーニングモデル	沼津	1,453,210	中小企業IoT活用促進事業	国交付金
	浜松	1,428,350		
ラボ・リユース	本所	1,166,000	科学研究費助成事業	団体補助
走査型電子顕微鏡	本所	29,700,000	機械工業育成機器整備事業費 (公益財団法人JKA)	
蛍光X線膜厚測定分析装置	浜松	25,168,000	工業技術研究所試験検査機器整備事業 (公益財団法人JKA)	
マイクロプリズムアレイ設計ソフトウェア	本所	8,547,000	新成長戦略研究推進事業	県単独
高速液体クロマトグラフ	沼津	5,269,000		
トランスファ成形機	浜松	21,945,000		
恒温恒湿室(2室)	本所	18,700,000	技術研究所施設備品等整備事業費	
次世代車載照明及び光センサー用配光性評価試験機	本所	44,000,000	EV・自動運転化技術革新対応促進事業費	
圧縮機器	富士	9,680,000	工業技術研究所試験検査機器整備事業費	
粒度分布測定装置	浜松	13,200,000		

2 事業実績

(1) 試験研究、調査及び指導事務

ア 研究開発

(ア) 研究課題

a 工業技術研究所及び工業技術支援センターの研究課題数

	新成長 戦略研究	県単独 研究	一般共同 研究	受託研究		計
				競争的 資金 による 研究	競争的 資金 以外の 研究	
工業技術研究所	6 (2) ※1 ※2	6 (3) ※3	9	6	9	36 (5)
沼津工業技術 支援センター	1 (1) ※2	0	2	2	2	7 (1)
富士工業技術 支援センター	1	1	5 (1) ※5	0	0	7 (2)
浜松工業技術 支援センター	2 (1) ※4	6 (1)	3	0	8	19 (2)
合計	10 (4)	13 (4)	19 (1)	8	19	69 (11)

()内は内数

※1 富士工業技術支援センターが統括して、静岡においても実施

※2 水産・海洋技術研究所が統括して、静岡及び沼津においても実施

※3 県単独研究の課題について、個人向け資金（科学研究費補助金）を活用

※4 工業技術研究所が統括して、浜松においても実施

※5 一般共同研究の課題について、個人向け資金（科学研究費補助金）を活用

(a) 工業技術研究所の研究課題の内訳

(単位:件)

	新成長 戦略研究	県単独 研究	一般共同 研究	受託研究		計
				競争的 資金による 研究	競争的 資金以外の 研究	
金属材料科	0	0	3	2	1	6
化学材料科	1 (1) ※1	0	1	0	0	2 (1)
機械電子科	2	1 (1) ※3	1	0	0	4 (1)
照明音響科	1 ※4	0	0	1	0	2
食品科	2 (1) ※2	3 (2) ※3	0	1	1	7 (3)
環境エネルギー科	0	1	1	1	3	6
ユニバーサルデザイン科	0	0	2	0	0	2
工芸科	0	1	1	1	4	7
合計	6 (2)	6 (3)	9	6	9	36 (5)

()内は内数

※1 富士工業技術支援センターが統括して、静岡においても実施

※2 水産・海洋技術研究所が統括して、静岡及び沼津においても実施

※3 県単独研究の課題について、個人向け資金（科学研究費補助金）を活用

※4 工業技術研究所が統括して、浜松においても実施

(b) 沼津工業技術支援センターの研究課題の内訳

(単位:件)

	新成長 戦略研究	県単独 研究	一般共同 研究	受託研究		計
				競争的 資金による 研究	競争的 資金以外の 研究	
バイオ科	1 (1) ※1	0	1	1	1	4 (1)
機械電子科	0	0	1	1	1	3
合計	1 (1)	0	2	2	2	7 (1)

()内は内数

※1 水産・海洋技術研究所が統括して、静岡及び沼津においても実施

(c) 富士工業技術支援センターの研究課題の内訳

(単位:件)

	新成長 戦略 研究	県単独 研究	一般共同 研究	受託研究		計
				競争的 資金による 研究	競争的 資金以外の 研究	
製紙科	0	1	0	0	0	1
CNF科	1	0	3	0	0	4
機械電子科	0	0	2 (1) ※1	0	0	2 (1)
合計	1	1	5 (1)	0	0	7 (1)

()内は内数

※1 一般共同研究の課題について、個人向け資金(科学研究費補助金)を活用

(d) 浜松工業技術支援センターの研究課題の内訳

(単位:件)

	新成長 戦略研究	県単独 研究	一般共同 研究	受託研究		計
				競争的 資金による 研究	競争的 資金以外の 研究	
光科	1 (1) ※1	2 (1) ※2	1	0	1	5 (2)
機械電子科	0	2	1	0	0	3
材料科	0	2	1	0	5	8
繊維高分子材料科	1	0	0	0	2	3
合計	2 (1)	6 (1)	3	0	8	19 (2)

()内は内数

※1 工業技術研究所が統括して、浜松においても実施

※2 県単独研究の課題について、個人向け資金(科学研究費補助金)を活用

b 令和3年度研究課題名一覧
 (a) 工業技術研究所研究課題名一覧

新・継続開始年	課題名	担当部門	備考
新成長戦略研究			
継続 R1～	次世代自動車軽量化のためのCNF複合材の開発	化学材料科	
継続 R1～	IoT導入支援のための技術拠点と先進事例モデルの構築	機械電子科	
継続 R2～	マリンバイオ産業を振興するための海洋由来微生物を活用した新たな食品開発	食品科	
新規	製造現場のWeb会議に活用できるリモート3Dスキャンの提案	機械電子科	チャレンジ研究枠
新規	人とコミュニケーションを図る次世代車載装置用樹脂レンズの開発	照明音響科	
新規	加工残渣から抽出する機能性成分による腸内マイクロバイオーームを介した免疫抑制	食品科	チャレンジ研究枠
県単独研究			
継続 R1～	農業実践例の大規模類似ネットワークに基づくナレッジベースの構築	機械電子科	科学研究費助成事業(学振)
継続 R2～	セルロースナノファイバーによる機能性成分の徐放化と挙動解明	食品科	科学研究費助成事業(学振)
継続 R2～	スキンケア素材の探索と機能性向上を目指した乳酸菌発酵	食品科	地方創生推進交付金(FHCa0I)
新規	豆乳タンパク質の新たな視点による挙動解析と濃縮技術開発	食品科	科学研究費助成事業(学振)
新規	微細気泡散気方式を利用した省スペース型排水処理装置の開発	環境エネルギー科	
新規	県産材の屋外使用に向けた防腐・防蟻処理技術の開発	工芸科	
一般共同研究			
継続 R1～	樹脂中に含まれる微小な植物繊維の定量評価法検討	化学材料科	
継続 R2～	エアコン用圧縮機の省エネと小型化を両立する高強度軽量スクロール翼のニアネット鑄造技術の開発	金属材料科	戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン)(経産省)
継続 R2～	静岡県地域企業等へのIoT導入強化に関する研究	機械電子科	つながる工場テストベッド事業(産総研)
継続 R2～	駿河湾由来カロテノイド生産微生物ライブラリーの構築とサプリメント開発への応用	環境エネルギー科	マリンバイオテクノロジーを核としたシーズ創出研究業務委託(県産業イノベーション課)

新・継 開始年	課題名	担当部門署	備考
新規	アルミニウム鋳造品用異種素材の固相接合技術の研究開発	金属材料科	次世代自動車技術革新対応促進助成事業(財団)
新規	バイオマスプラスチックへのめっき技術の開発	金属材料科	
新規	介護サービスの質の向上を目指したトイレ介助機器の開発	ユニバーサルデザイン科	
新規	手術用頭部固定枕の開発	ユニバーサルデザイン科	医療機器等開発助成事業費補助金(ファルマ)
新規	居住空間における木材・木製品等の変色に関する研究	工芸科	
受託研究(競争的資金による研究)			
継続 R2～	複数場の同時制御プロセスによるリサイクル可能な超軽量マルチ部材の開発	金属材料科	先端企業育成プロジェクト推進事業(県新産課)
継続 R2～	フレキシブル面光源の性能評価のための光学特性測定に関する国際標準化	照明音響科	国際標準化事業(経産省)
継続 R2～	水産加工残渣抽出技術の検討	食品科	MaOI事業化促進事業(県産業イノベーション課)
継続 R2～	地産地消型エネルギー循環システム構築を目指した脂質高含有廃棄物からの長期安定的エネルギー回収法の開発	環境エネルギー科	A-STEPトライアウト(JST)
新規	半熔融成形法により作製したヒートシンクの放熱性に関する研究開発	金属材料科	試作品開発助成事業(次世代自動車)(財団)
新規	バイオマス素材を原料とした白金担持炭素材料の開発	工芸科	課題提案型研究助成(スズキ財団)
受託研究(競争的資金以外の研究)			
新規	アルミニウム砂型鋳物の鋳造性に及ぼす鋳型砂に関する研究開発	金属材料科	
新規	オリーブ搾油残渣からの機能性素材の開発	食品科	
新規	蒸留所から発生する高濃度廃液を利用した高効率メタン発酵手法の開発	環境エネルギー科	
新規	廃棄物を用いた微生物による水素発酵最適運転条件の検討	環境エネルギー科	
新規	未利用有機性廃棄物のメタン発酵適性評価	環境エネルギー科	
新規	県産針葉樹材等の外溝部材利用に向けた処理条件の検討	工芸科	

新・継 開始年	課題名	担当部門署	備考
新規	皮革製品に適したツキ板加工技術の開発	工芸科	
新規	木材流動成形物の高強度化と高機能化	工芸科	
新規	連続式賦活炉により製造した木質活性炭の性能 評価	工芸科	

注) 学振：(独)日本学術振興会、FHCaOI：フーズ・ヘルスケアオープンイノベーションプロジェクト、経産省：経済産業省、産総研：(国研)産業技術総合研究所、県産業イノベ課：静岡県産業イノベーション推進課、財団：(公財)静岡県産業振興財団、ファルマ：ファルマバレーセンター、県新産課：静岡県新産業集積課、JST：(国研)科学技術振興機構、スズキ財団：(公財)スズキ財団

(b) 沼津工業技術支援センター研究課題名一覧

新・継 開始年	課題名	担当部門	備考
新成長戦略研究			
継続 R2～	マリンバイオ産業を振興するための海洋由来微生物を活用した新たな食品開発	バイオ科	
一般共同研究			
新規	本県独自の清酒用種麹の開発フローの構築	バイオ科	
新規	二軸引張試験を活用した難成形材プレスシミュレーションの高精度化	機械電子科	
受託研究（競争的資金による研究）			
新規	酵素－抗体融合体の作製と評価	バイオ科	産学官連携研究 開発助成事業 (財団)
新規	成形シミュレーションによる成形条件の検討と成形後の材料評価	機械電子科	新成長産業戦略 的育成事業 事 業化推進助成事 業
受託研究（競争的資金以外の研究）			
新規	有用微生物を活用した国産高麗人参エキスの加工技術開発	バイオ科	
新規	医療用金属材料の強度試験方法の検討及び高温成形加工を活用した新たな加工方法の可能性調査	機械電子科	

注) 財団：(公財)静岡県産業振興財団

(c) 富士工業技術支援センター研究課題名一覧

新・継 開始年	課題名	担当部門	備考
新成長戦略研究			
継続 R1～	次世代自動車軽量化のためのCNF複合材の開発	CNF科	
県単独研究			
新規	段ボール古紙を使用した「茶色いトイレトーパー」の開発	製紙科	
一般共同研究			
継続 R1～	樹脂中に含まれる微小な植物繊維の定量評価法検討	CNF科	
継続 R1～	CNF製造に関する解繊エネルギーの低減	CNF科	
継続 R1～	古紙等のパルプ繊維を複合化したハイブリッド樹脂におけるCNF分散制御技術の確立	CNF科	
継続 R2～	プラズマ照射による樹脂表界面の新規改質技術の開発	機械電子科	
新規	深層学習を用いた画像解析による牛群中での子牛の疾病検知システムの開発	機械電子科	科学研究費助成事業(学振)

注) 学振：(独) 日本学術振興会

(d) 浜松工業技術支援センター研究課題名一覧

新・継 開始年	課題名	担当部門	備考
新成長戦略研究			
継続 R2～	新成長分野発展に貢献する軽量高強度材料(CFRP)の高効率成形技術の確立	繊維高分子材料科	
新規	人とコミュニケーションを図る次世代車載用樹脂レンズの開発	光科	
県単独研究			
継続 R2～	ダイヤモンド焼結体(PCD)工具のレーザー加工技術の開発	光科	
継続 R2～	3D熱変形計測技術を応用した次世代自動車用部品の開発プロセスの効率化	機械電子科	
継続 R2～	車載機器EMC試験における測定値のサイト間比較による測定信頼性の向上	機械電子科	
継続 R3～	多波長イメージングによる高速表面粗さ測定法の開発	光科	科学研究費助成事業(学振)
新規	材料評価・解析における技術継承を目指した技術資料集の作成	材料科	
新規	めっきを利用した鉄-アルミニウム接合技術の開発	材料科	
一般共同研究			
継続 R1～	マイクロテスチャエンドミルの主軸反転傾斜切削による超微粒パウダー製造技術の開発	材料科	戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン)(経産省)
継続 R2～	眼鏡レンズのレーザー染色におけるスマート加熱	光科	A-STEP(JST)
新規	高周波焼入ロボットの研究開発	機械電子科	産学官連携開発助成事業(財団)
受託研究(競争的資金以外の研究)			
継続 R2～	生分解性プラスチックの紡糸に関する研究	繊維高分子材料科	
新規	母材表面の外観を維持したレーザー溶着技術の研究	光科	
新規	高粘性液剤混入微小物のフィルトレーション	材料科	
新規	画像判定AIによる各種異物の判定・分類等に関する研究	材料科	
新規	コイル圧縮成形による絶縁被膜への影響	材料科	

新・継 開始年	課題名	担当部門	備考
新規	環境対応型クロムめっきの特性評価	材料科	
新規	熱による多層めっきの拡散挙動の検証	材料科	
新規	高比重成形材を用いた成形品の高弾性率化	繊維高分子材料科	

注) 学振：(独)日本学術振興会、財団：(公財)静岡県産業振興財団、経産省：経済産業省、JST：
(国研)科学技術振興機構

(イ) 外部研究員招へい事業

a 工業技術研究所及び工業技術支援センターの合計

	人数	指導時間
工業技術研究所	12	81
沼津工業技術支援センター	6	26
富士工業技術支援センター	3	37
浜松工業技術支援センター	5	46
合計	26	190

b 外部研究員一覧

(a) 工業技術研究所外部研究員

所属	専門	指導を受ける内容	指導時間
田中特許事務所	特許	特許制度・意匠制度・著作権・商標制度について、税関の水際対策について講義	10
ND精工株式会社	機械工学、光学測定	積分球システムについての説明と測定演習測定誤差に関する講義	10
実践女子大学	食品加工学	生豆乳の凍結融解実験、これまでの研究足跡と現在の研究活動について	3
一般社団法人静岡県発明協会	知的財産	特許公報の概要、新規性・進歩性の考え方	2
常葉大学	栄養化学、食品機能学	アミノ酸・有機酸等の食品成分の機器分析	6
福井大学	無機材料、無機工業材料	樹脂改質方法と樹脂めっき技術について	4
大阪大学大学院	材料工学	樹脂改質方法と樹脂めっき技術について	4
関東学院大学	材料工学	樹脂改質方法と樹脂めっき技術について	4
マイクロトラック・ベル株式会社	多孔質体の解析理論	多孔質体の吸着理論、実データ解析、装置を用いた実習	6
株式会社イセンシャル	電気回路設計	電気回路シミュレーションソフトの使い方・演習、マイクログリッドの説明と実証実験、研究についての意見交換	10
フリーランス	ARモバイルアプリ開発	ARオブジェクト作成・表示、3Dオブジェクトビューワの作成、深度情報の取得について	14
株式会社テクノベル	樹脂の押出混練	混練機の基礎と運用について	8
合計 10 人		合計 81 時間	

(b) 沼津工業技術支援センター外部研究員一覧

所 属	専 門	指導を受ける内容	指導時間
呉工業高等専門学校	環境都市工学	ゲノム編集技術について	3
東京農業大学	醸造学	酒類製造技術及び関連試験手法について	6
東京農業大学	醸造学	種麴の開発、麴菌の育種について	3
東北大学	生体適合性材料	医療用材料の加工技術、鍛造加工	7
東京農工大学大学院	塑性加工法	リンク機構式2軸引張試験機、難成形材料の2軸引張試験について	4
理化学研究所	バイオエンジニアリング	三次元内部構造顕微鏡について	3
合計 6 人		合計 26 時間	

(c) 富士工業技術支援センター外部研究員一覧

所 属	専 門	指導を受ける内容	指導時間
(一社) 静岡県紙パルプ技術協会	製紙工学	段ボール古紙を用いたトイレットペーパー開発に関して、これまでの研究結果や実験方法、今後の進め方等について	12
東京農工大学大学院	紙パルプ科学、セルロース科学、ナノ材料学	加熱情勢がパルプ・紙に及ぼす影響について、ヘミセルロースに関する基礎及び分析法、	12
沼津工業高等専門学校	振動工学、信号処理技術	深層学習を用いた異常検知、OpenPoseを用いたモーションキャプチャ、牛のセンサーデータの収集、AutoMLを用いた機械学習	13
合計 3 人		合計 37 時間	

(d) 浜松工業技術支援センター外部研究員一覧

所 属	専 門	指導を受ける内容	指導時間
静岡文化芸術大学	CAD/CAM	Solidworks による 3DCAD の操作方法と造形、3次元形状の精密測定技術、	24
今田技術士事務所	着色材料	眼鏡レンズレーザー染色の原理、凝集ムラ低減方法、染色性向上方法、染料の消化温度、染色時のひずみについて	4
福島テック	高分子材料の成形・加工技術	チョップド UDO テープの圧縮成形技術及び形状と成形品の関係、ゴルフヘッドへの CF の適用について	8
大阪大学	レーザー工学	眼鏡レンズレーザー染色の条件・制御方法について、A-STEP トライアウト研究成果に関して指導・今後の提案	4
スギテクノ	電子回路、デジタル信号処理、コンピュータソフトウェア	AutoML の効果的な活用方法について	6
合計 5 人		合計 46 時間	

(ウ) 特許等の登録及び出願

a 工業技術研究所及び工業技術支援センターの合計（令和3年3月31日現在）

	出願中件数	登録件数
工業技術研究所	11	21 ¹⁾
沼津工業技術支援センター	1	1
富士工業技術支援センター	1	3
浜松工業技術支援センター	5 ²⁾	15 ³⁾
合計	18	40

1) 意匠登録2件を含む。（内1件は外国での意匠登録）

2) 外国で特許出願中の4件を含む。

3) 外国登録特許6件を含む。

b aのうち特許等出願、登録及び消滅件数

	出願件数	登録件数	消滅件数
工業技術研究所	2	3	3
沼津工業技術支援センター	1	0	0
富士工業技術支援センター	0	0	0
浜松工業技術支援センター	0	1	0
合計	3	4	3

イ 技術相談等

(ア) 技術相談

a 工業技術研究所及び工業技術支援センターの相談件数合計

	工業技術研究所	沼津工業技術支援センター	富士工業技術支援センター	浜松工業技術支援センター	合計
技術相談	14,369	2,533	4,024	11,089	32,015
実地指導	787	125	163	165	1,240
合計	15,156	2,658	4,187	11,254	33,255

(a) 工業技術研究所の相談件数

所属	金属材料科	化学材料科	機械電子科	照明音響科
技術相談	1,253	2,384	1,275	1,601
実地指導	39	55	70	19
合計	1,292	2,439	1,345	1,620
所属	食品科	環境エネルギー科	ユニバーサルデザイン科	工芸科
技術相談	2,200	1,241	1,960	2,168
実地指導	177	273	79	34
合計	2,377	1,514	2,039	2,202
所属	その他	合計		
技術相談	287	14,369		
実地指導	41	787		
合計	328	15,156		

(b) 沼津工業技術支援センター相談件数

所属	バイオ科	機械電子科	その他	合計
技術相談	311	2,143	79	2,533
実地指導	60	52	13	125
合計	371	2,195	92	2,658

(c) 富士工業技術支援センター相談件数

所属	製紙科	CNF科	機械電子科	その他
技術相談	1,778	767	1,417	62
実地指導	27	68	50	18
合計	1,805	835	1,467	80
所属	合計			
技術相談	4,024			
実地指導	163			
合計	4,187			

(d) 浜松工業技術支援センター相談件数

所属	光科	機械電子科	材料科	繊維高分子材料科
技術相談	859	3,494	4,952	1,350
実地指導	15	25	69	22
合計	874	3,519	5,021	1,372
所属	その他	合計		
技術相談	434	11,089		
実地指導	34	165		
合計	468	11,254		

(イ) 依頼試験

a 依頼試験内訳（工業技術研究所及び工業技術支援センターの合計）

		件数	金額(円)
1 分析	定性分析	1,659	8,947,650
	定量分析	653	3,398,190
2 工業用材料	材料強度試験	1,868	4,095,670
	長期性能試験	32,393	7,790,520
	特殊試験	1,249	8,934,570
3 木材工業	木材試験	45	285,370
	塗料試験	39	55,890
	製品試験	442	1,646,610
4 化学工業	金属表面処理試験	108	380,010
	プラスチック及びゴム試験	0	0
	微生物試験	8	37,350
	セラミックス試験	0	0
	熱勘定試験	0	0
5 機械金属工業	精密測定	234	825,760
	機械器具の検査及び試験	184	1,024,880
	金属試験	674	2,548,110
	電気試験	0	0
6 包装材料	包装材料試験	23	30,590
7 繊維工業	繊維材料試験	1	3,570
	編織試験	45	144,300
	染色試験	0	0
	整理仕上加工試験	0	0
8 製紙工業	原材料試験	30	373,400
	紙質試験	302	782,290
	製紙及び紙加工試験	8	65,520
9 加工	塗装加工	0	0
	木竹材加工	0	0
10 設計及び調整	機械等の設計及び調整	277	1,143,970
	繊維デザイン	0	0
	商業及び工業デザイン	46	168,760
11 写真及び複写		532	95,240
12 成績書の複本		22	14,700
合 計		40,842	42,792,920

(a) 工業技術研究所の依頼試験実績

		件数	金額(円)
1 分析	定性分析	303	3,110,310
	定量分析	399	1,169,350
2 工業用材料	材料強度試験	1,482	3,368,950
	長期性能試験	6,664	1,334,180
	特殊試験	1,091	7,476,470
3 木材工業	木材試験	45	285,370
	塗料試験	30	42,120
	製品試験	442	1,646,610
4 化学工業	金属表面処理試験	13	94,770
	プラスチック及びゴム試験		
	微生物試験		
	セラミックス試験		
	熱勘定試験		
5 機械金属工業	精密測定	3	3,420
	機械器具の検査及び試験		
	金属試験	32	199,580
	電気試験		
6 包装材料	包装材料試験		
7 繊維工業	繊維材料試験		
	編織試験		
	染色試験		
	整理仕上加工試験		
8 製紙工業	原材料試験		
	紙質試験		
	製紙及び紙加工試験		
9 加工	塗装加工		
	木竹材加工		
10 設計及び調製	機械等の設計及び調製	1	20,510
	繊維デザイン		
	商業及び工業デザイン	46	168,760
11 写真及び複写		32	960
12 成績書の複本			
合 計		10,583	18,921,360

(b) 沼津工業技術支援センターの依頼試験実績

		件数	金額(円)
1 分析	定性分析	34	196,520
	定量分析	22	82,340
2 工業用材料	材料強度試験	16	38,220
	長期性能試験	6,283	1,821,720
	特殊試験	32	158,620
3 木材工業	木材試験		
	塗料試験		
	製品試験		
4 化学工業	金属表面処理試験		
	プラスチック及びゴム試験		
	微生物試験	8	37,350
	セラミックス試験		
	熱勘定試験		
5 機械金属工業	精密測定	231	822,340
	機械器具の検査及び試験	184	1,024,880
	金属試験	338	768,500
	電気試験		
6 包装材料	包装材料試験		
7 繊維工業	繊維材料試験		
	編織試験		
	染色試験		
	整理仕上加工試験		
8 製紙工業	原材料試験		
	紙質試験		
	製紙及び紙加工試験		
9 加工	塗装加工		
	木竹材加工		
10 設計及び調製	機械等の設計及び調製	2	10,980
	繊維デザイン		
	商業及び工業デザイン		
11 写真及び複写		128	29,140
12 成績書の複本			
合 計		7,278	4,990,610

(c) 富士工業技術支援センターの依頼試験実績

		件数	金額(円)
1 分析	定性分析		
	定量分析		
2 工業用材料	材料強度試験	8	19,460
	長期性能試験	5,639	1,379,970
	特殊試験		
3 木材工業	木材試験		
	塗料試験		
	製品試験		
4 化学工業	金属表面処理試験		
	プラスチック及びゴム試験		
	微生物試験		
	セラミックス試験		
	熱勘定試験		
5 機械金属工業	精密測定		
	機械器具の検査及び試験		
	金属試験		
	電気試験		
6 包装材料	包装材料試験	23	30,590
7 繊維工業	繊維材料試験		
	編織試験		
	染色試験		
	整理仕上加工試験		
8 製紙工業	原材料試験	30	373,400
	紙質試験	302	782,290
	製紙及び紙加工試験	8	65,520
9 加工	塗装加工		
	木竹材加工		
10 設計及び調製	機械等の設計及び調製		
	繊維デザイン		
	商業及び工業デザイン		
11 写真及び複写			
12 成績書の複本		22	14,700
合 計		6,032	2,665,930

(d) 浜松工業技術支援センターの依頼試験実績

		件数	金額(円)
1 分析	定性分析	1,322	5,640,820
	定量分析	232	2,146,500
2 工業用材料	材料強度試験	362	669,040
	長期性能試験	13,807	3,254,650
	特殊試験	126	1,299,480
3 木材工業	木材試験		
	塗料試験	9	13,770
	製品試験		
4 化学工業	金属表面処理試験	95	285,240
	プラスチック及びゴム試験		
	微生物試験		
	セラミック試験		
	熱勘定試験		
5 機械金属工業	精密測定		
	機械器具の検査及び試験		
	金属試験	304	1,580,030
	電気試験		
6 包装材料	包装材料試験		
7 繊維工業	繊維材料試験	1	3,570
	編織試験	45	144,300
	染色試験		
	整理仕上加工試験		
8 製紙工業	原材料試験		
	紙質試験		
	製紙及び紙加工試験		
9 加工	塗装加工		
	木竹材加工		
10 設計及び調製	機械等の設計及び調製	274	1,112,480
	繊維デザイン		
	商業及び工業デザイン		
11 写真及び複写		372	65,140
12 成績書の複本			
合 計		16,949	16,215,020

(ウ) 機器使用等

a 工業技術研究所及び工業技術支援センターの機器使用等の実績合計

		時間数	金額(円)
機器使用		74,669	85,711,180
研修施設等使用	研修施設	406	579,750
	無響室	252	960,000
	電波暗室	542	3,780,800
	車載機器用EMS電波暗室	258	1,393,200
	車載機器用EMI電波暗室	744	3,777,400
	B C I 試験室 (シールドルーム)	256	998,400
	車載機器試験用シールドルーム	232	904,800
合 計	77,359	98,105,530	

(a) 工業技術研究所の機器使用等の実績

		時間数	金額(円)
機器使用		28,885	24,627,960
研修施設等使用	研修施設	84	79,200
	無響室	71	281,250
合 計	29,040	24,988,410	

(b) 沼津工業技術支援センターの機器使用等の実績

		時間数	金額(円)
機器使用		7,922	6,946,120
研修施設		28	32,200
合 計	7,950	6,978,320	

(c) 富士工業技術支援センターの機器使用等の実績

		時間数	金額(円)
機器使用		5,140	9,232,930
研修施設		163	244,150
合 計	5,303	9,477,080	

(d) 浜松工業技術支援センターの機器使用等の実績

		時間数	金額(円)
機器使用		32,722	44,904,170
研修施設等使用	研修施設	131	224,200
	無響室	181	678,750
	電波暗室	542	3,780,800
	車載機器用EMS電波暗室	258	1,393,200
	車載機器用EMI電波暗室	744	3,777,400
	B C I 試験室 (シールドルーム)	256	998,400
	車載機器試験用シールドルーム	232	904,800
合 計	35,066	56,661,720	

(エ) 研究会の育成

a 工業技術研究所

研究会名	発足年月	会員数
静岡県プレス技術研究会	昭和44年 6月	37社
静岡県食品技術研究会	昭和47年12月	113社・個人・団体
静岡県資源環境技術研究会	昭和44年11月	75社・人
静岡県プラスチック技術研究会	平成 2年 6月	33社
静岡県ユニバーサルデザイン・工芸研究会	平成 7年 5月	36社

b 沼津工業技術支援センター

研究会名	発足年月	会員数
静岡県東部精密技術研究会	平成 2年 6月	36社・団体
静岡県バイオテクノロジー研究会	昭和59年 9月	28者

c 富士工業技術支援センター

研究会名	発足年月	会員数
静岡県紙パ技術研究フォーラム	昭和62年 9月	10社

d 浜松工業技術支援センター

研究会名	発足年月	会員数
浜松機械技術研究会	昭和39年12月	61社
表面技術研究会	昭和60年 8月	38社
浜松繊維加工技術研究会	平成 7年 7月	13社
浜松品質工学研究会	平成 9年 3月	25人
浜松EMC研究会	平成20年 6月	21社
浜松地域CFRP事業化研究会	平成21年 4月	52社
はままつ超ハイテン研究会	平成28年 6月	15社

(オ) 研修生の受入れ

a 工業技術研究所及び工業技術支援センターの実績合計

単位：人

	一般研修	就業体験研修	連携大学院
工業技術研究所	6	0	0
沼津工業技術支援センター	2	0	0
富士工業技術支援センター	0	0	0
浜松工業技術支援センター	0	0	0
合計	8	0	0

(a) 工業技術研究所の研修生

一般研修			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
食品科	海洋性乳酸菌を用いた食品開発	令和3年4月1日～ 令和4年3月31日	県内大学 1人
食品科	シカ肉のアミノ酸測定、GC におい嗅ぎ分析、走査型電子 顕微鏡による組織観察	令和3年7月1日～ 令和3年3月31日	県内大学 1人
食品科	マグロ肉の脂肪酸分析	令和3年8月23日～ 令和4年3月31日	県内大学 1人
工芸科	タッピング法による木質材料 の損失係数測定法の習得	令和3年6月1日～ 令和4年3月31日	県内大学 3人
就業体験研修（インターンシップ）			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
受入れなし			
連携大学院関係			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
受入れなし			

(b) 沼津工業技術支援センターの研修生

一般研修			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
バイオ科	リアルタイム PCR の操作および解析手法の習得、遺伝子抽出操作および検量線の作成方法の習得	令和3年5月24日～ 令和4年2月22日	県内企業 2名
就業体験研修（インターンシップ）			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
受入れなし			
連携大学院関係			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
受入れなし			

ウ 技術情報提供

(ア) 研究報告関係

研究成果事例集	展示会での閲覧及び協議会等で配布 ホームページに掲載
工業技術研究所研究報告	1,100部

(イ) 研究発表会関係

研 究 発 表 会	工業技術研究所	開催年月日	R2. 8. 21	R3. 3. 9-10	
		参加者数	287人	165人	
		要旨集	Webで公開	Webで公開	
	沼津工業技術 支援センター	開催年月日	工技研と合同開催		
		参加者数	-		
		要旨集	-		
	富士工業技術 支援センター	開催年月日	R2. 10. 28	R3. 3. 11	
		参加者数	62人	69人	
		要旨集	62部	Webで限定公開	
	浜松工業技術 支援センター	開催年月日	R3. 3. 8		
		参加者数	99人		
		要旨集	Webで公開		

※工業技術研究所及び富士工業技術支援センターについては、新型コロナウイルスの影響により延期していた、令和元年度の研究発表会を令和2年に開催した。

(a) 令和元年度静岡県工業技術研究所研究発表会の実績（令和2年8月21日）

テーマ名	発表者
車載光学機器産業を支援する設計・評価・生産支援技術の開発	豊田敏裕
表面の光学特性に影響する粗さパラメータの解明	柳原 亘
ヘッドアップディスプレイにおける凹面鏡の形状が光学性能に与える影響の評価	志智 亘
屋外の光環境下でのヘッドアップディスプレイの照明シミュレーション	豊田敏裕
次世代自動車の軽量化に貢献する3D熱変形等計測・評価技術の開発	針幸達也
環境に優しい樹脂めっきプロセスの開発	綿野哲寛
熔融樹脂と金属部材表面の剥離性評価	小泉雄輔
異種材料接合のための新型プラズマ照射装置の開発 －プラズマ照射効果の分析－	高木 誠
異種材料接合のための新型プラズマ照射装置の開発 －接着性向上について－	稲葉彩乃
静岡県IoT推進ラボの開設	赤堀 篤

テーマ名	発表者
ポータブルIoT導入パックの開発	望月建治
プレス加工現場のIoT導入支援の実例 －生産出来高のリアルタイム監視と生産計画の最適化への取り組み－	岩崎清斗
鍍金加工工場のIoT導入支援の実例 －稼働状況の見える化とLPWA通信による管理工数の削減－	山口智之
携帯情報端末を活用した酸素ボンベ残量モニタの開発 －深層学習を用いた医療用酸素流量調整器の自動読み取りについて－	竹居 翼
鍛造シミュレーションの高精度化に向けた取り組み －生体適合性材料（チタン合金）の材料特性データの活用－	是永宗祐
鍛造シミュレーションの高度化 －進化的計算手法と機械学習の活用－	松下五樹
次世代自動車軽量化のためのCNF複合材の開発 －研究の背景と概要－	大竹正寿
マイクロX線CTによるCNF複合材のCNF分散性評価	田中翔悟
赤外分光イメージングを用いたPP/CNF複合材中のCNF分散性の評価 －試料間の数値的な比較－	菅野尚子
マスターバッチを使用したPP/CNF複合材の混練・成形・評価	志田英士
PP/CNF複合材に対するめっき密着性の評価	田中宏樹
セルロースナノファイバーを添加したモルタルのひび割れと収縮	村松重緒
セルロースナノファイバーによる香り放散機構の解明	石橋佳奈
静岡県産アカモクの機能性成分及び微生物評価	浅沼俊倫
緑茶葉の微細化素材開発	松野正幸
新マイクロ波抽出技術による魚節フレーバー濃縮エキスの開発	渡瀬隆也
新規なこんにゃくハンバーグの開発	三宅健司
機能向上を狙った静岡県産農産物の乳酸菌発酵	袴田雅俊
しずおか有用微生物ライブラリーを活用した静岡サワービールの開発（Ⅱ） －最適微生物株の選抜－	望月玲於
しずおか有用微生物ライブラリーを活用した静岡サワービールの開発（Ⅲ） －試作品の製造及び評価－	勝山 聡
県オリジナル酒造好適米新系統の醸造適性評価	鈴木雅博
静岡版メタン発酵プラントの実証化試験について	太田良和弘
メタン発酵処理に適する食品廃棄物の性状に関する考察	室伏敬太
木工プレス機の荷重管理状況調査	渡邊雅之
衝撃荷重を想定した椅子の耐久性試験の提案	菊池圭祐
発泡体の構造解析に向けた材料特性パラメータの導出	船井 孝
搾乳作業における身体負担を軽減するしゃがみ姿勢の提案	大賀久美

(b) 令和元年度富士工業技術支援センター研究発表会の実績 (令和2年10月28日)

テーマ名	発表者
「ふじのくに CNF 研究開発センター」の紹介	大竹正寿
次世代自動車軽量化のためのCNF複合材の開発 ～研究の背景と概要～	大竹正寿
次世代自動車軽量化のためのCNF複合材の開発 ～マイクロX線CTによるCNF複合材のCNF分散性評価～	田中翔悟
CNFによる地域産業の活性化支援研究 ～CNFの繊維製品への活用の検討～	河部千香
繊維長分布測定装置の概要と利用例	齊藤和明
段ボール古紙の印刷用紙への活用可能性の検討	齊藤将人
異種材料接合のための新型プラズマ照射装置の開発 (総論)	高木 誠
異種材料接合のための新型プラズマ照射装置の開発 (プラズマ照射効果の分析)	高木 誠
異種材料接合のための新型プラズマ照射装置の開発 (接着性向上について)	稲葉彩乃
深層学習を利用した牛分娩検知システムの開発	井出達樹

(c) 令和2年度浜松工業技術支援センター研究発表会の実績 (令和3年3月8日)

テーマ名	発表者
新成長分野発展に貢献する軽量高強度材料 (CFRP) の高効率成形技術の確立	鈴木重好
CFRPの基材となるUDテープ製造技術の確立	長房秀幸
新成長分野発展に貢献する軽量高強度材料 (CFRP) の高効率成形技術の確立～開発中の成形材料の成形条件の確立について～	森田達弥
材料評価・解析のための効果的・効率的な試料調製方法のご紹介	吉岡正行
めっき法によるラフネス構造の形成と撥水化への応用	田光伸也
X線回折による硬さ測定に及ぼす鋼種の影響	小粥基晴
機器分析による薄膜の評価解析方法について	長田貴将
マイクロチップレーザーによるレーザーピーンフォーミングの変形モード	鷺坂芳弘
試料表面の色から粗さを推定する	中野雅晴
光散乱解析を用いた偏光計測の可否判定	太田幸宏
EMC試験設備の紹介と試験時の留意点	上野貴康
摩擦攪拌接合したアルミニウム合金鋳造材継手の組織と機械的性質	岩澤 秀
非接触三次元ひずみ・変形測定機の測定事例紹介	長津義之
計測用X線CTの精度評価	針幸達也

(d) 令和2年度静岡県工業技術研究所研究発表会の実績（令和3年3月9日ー令和3年3月10日）

テーマ名	発表者
静岡県 IoT 推進ラボのリニューアル	赤堀 篤
IoT導入のための企業向け実習について	山口智之
自作型IoTシステムの使いやすさについて	岩崎清斗
データ圧縮アルゴリズムを活用した画像認識AIにおける効率的学習手法の開発	松下五樹
医療用チタン合金の鍛造条件を探索するためのシミュレーションシステムの構築	是永宗祐
小児・嚥下困難者のための錠剤粉碎技術の開発 ー病院・薬局での調剤作業簡易化を目指してー	松野正幸
静岡県産品を活用した化粧品の開発支援 ー収集・素材化および機能性の探索・向上研究の取組みー	山下里恵
CNFを活用したアロマ基礎化粧品の開発	石橋佳奈
マグロ未利用部位機能性成分抽出技術の検討 ー食品・化粧品素材開発ー	三宅健司
新マイクロ波抽出技術によるかつお節フレーバー濃縮エキスの開発	渡瀬隆也
駿河湾由来乳酸菌を用いた乳酸発酵甘酒の開発	浅沼俊倫
チーズ製造に適した駿河湾由来乳酸菌の選抜	袴田雅俊
海洋資源からのサワービール及び生醗系清酒用乳酸菌の選抜	勝山 聡
静岡酵母HD-1と麹菌の組み合わせが清酒の酒質に及ぼす影響	鈴木雅博
家畜ふん尿の乾燥及び燃料化技術の開発	岡本哲志
静岡版メタン発酵技術の普及支援	太田良和弘
デザインを活用した課題解決について ーデザインマッチング事業の紹介ー	大賀久美
介護動作指導支援システムのユーザビリティ評価	易 強
衝撃荷重を想定した椅子の背もたれの試験方法の提案	菊池圭祐
木工プレス機の荷重管理状況調査 ープレス荷重の「見える化」についてー	渡邊雅之
積層板の音響特性における接着剤の影響	村松重緒
車載光学機器産業を支援する設計・評価・生産支援技術の開発	豊田敏裕
照明シミュレーションによるヘッドアップディスプレイの設計評価	豊田敏裕
表面性状測定データを用いた切削加工面の表面散乱光予測	志智 亘
車載光学機器部品における微細構造評価について	柳原 亘
機械電子科に新たに整備した高精度自由曲面測定機の紹介	大澤洋文

テーマ名	発表者
次世代自動車軽量化のためのCNF複合材の開発 —CNFがPP/CNF複合材に及ぼす影響—	大竹正寿
高濃度CNFのマスタバッチを用いたPP/CNF複合材料の試作と評価	菅野尚子
CNFマスタバッチのブロー成形への適用とその評価	小泉雄輔
熔融樹脂と金属部材表面の剥離性評価 —第2報—	稲葉彩乃
PP/CNF複合材に対するめっき密着性の評価（Ⅱ）	田中宏樹
環境に優しい樹脂めっきプロセスの開発（Ⅱ）	望月玲於
金属材料科の機器の紹介 —鋼種推定を中心に—	鈴木洋光

（e）令和2年度富士工業技術支援センター研究発表会の実績（令和3年3月11日）

テーマ名	発表者
次世代自動車軽量化のためのCNF複合材の開発 —背景と今年度の研究概要—	大竹正寿
次世代自動車軽量化のためのCNF複合材の開発 —X線CTによるPP/CNF複合材の分散性評価—	田中翔悟
リファイナーを用いたCNF製造の試み	河部千香
再生紙の低密度化に関する研究	齊藤和明
ほぐれやすさ試験機の技術開発	齊藤将人
新型プラズマ照射装置とその応用事例	高木 誠
深層学習を利用した牛分娩検知システムの開発	井出達樹

(ウ) 研究所情報等の提供

刊行物名	発行部数 (部)	ホームページ 掲載
工業技術研究所各科紹介チラシ	—	○
沼津工業技術支援センターニュース	—	○
富士工業技術支援センターニュース	400	○
富士工業技術支援センター利用案内	400	—
浜松工業技術支援センターニュース	2,000	○
静岡県工業技術情報	—	○
静岡県工業技術研究所年報	—	○
静岡県工業技術研究所メールマガジン(2週間に1回発行)	23回	—

(エ) 研究所の事業広報等

見学の受入	工業技術研究所		499人
	沼津工業技術支援センター		29人
	富士工業技術支援センター		143人
	浜松工業技術支援センター		18人
「県民の日」	工業技術研究所	開催年月日	—
		参加者数	—
研究所 フェア	沼津工業技術支援センター	開催年月日	—
		参加者数	—
及び センター フェア	富士工業技術支援センター	開催年月日	—
		参加者数	—
	浜松工業技術支援センター	開催年月日	—
		参加者数	—

※ 令和2年度の研究所フェア及びセンターフェアについては、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、開催を中止した。

(オ) 講習会等

a 工業技術研究所及び工業技術支援センターの実績合計

	実施回数	参加者数
工業技術研究所	21	968
沼津工業技術支援センター	3	82
富士工業技術支援センター	8	166
浜松工業技術支援センター	19	462
合計	51	1,678

(a) 工業技術研究所の実績

年月日	件名	会場	参加人数 ^{※)}	共催等
R3.6.22	わかりやすいIoTを用いた現場実装講座	工業技術研究所	10	静岡県IoT活用研究会
R3.9.16		浜松工業技術支援センター	8	
R3.12.17		沼津工業技術支援センター	8	
R3.7.16	食品技術研修会	第268回 Web開催及び札の辻クロスホール	92	静岡県食品技術研究会 静岡県食品産業協議会
R3.10.26		第269回 Web開催	102	静岡県食品技術研究会 静岡県食品産業協議会
R4.1.13		第271回 Web開催及び札の辻クロスホール	99	静岡県食品技術研究会、静岡県食品産業協議会、静岡大学食品・生物産業創出拠点
R4.3.16		第272回 Web開催	86	静岡県食品技術研究会 静岡県食品産業協議会
R3.7.29	静岡県ユニバーサルデザイン・工芸研究会講習会	第1回 Web開催	15	静岡県ユニバーサルデザイン・工芸研究会
R3.10.1		第2回 Web開催	16	
R3.12.7		第3回 Web開催	14	
R3.2.16		第4回 Web開催	19	
R3.9.8	IoT大学連携講座	Web開催	10	静岡県IoT活用研究会
R3.12.10		浜松工業技術支援センター	10	
R4.2.24		Web開催	8	

年月日	件名	会場	参加人数 ^{※)}	共催等
R3. 9. 29	第10回排水処理技術セミナー	Web開催	94	静岡県資源環境技術研究会 静岡県環境保全協会 静岡市資源環境保全推進協力会
R3. 12. 3	第25回分析技術研修会	Web開催	51	静岡県資源環境技術研究会、(一財)静岡県計量協会環境計量証明部会
R3. 12. 22	技術講習会「微小部蛍光X線分析の基礎と実際」	工業技術研究所	28	静岡県プラスチック技術研究会、静岡県資源環境技術研究会
R3. 12. 22	分析技術講習会	工業技術研究所	31	静岡県プラスチック技術研究会、静岡県資源環境技術研究会
R4. 2. 1	静岡県つながる工場テストベッド事業お披露目会	Web開催	70	(国研)産業技術総合研究所
R4. 2. 22	脱炭素経営に関する学習会「中小企業における脱炭素経営の取組み方」	Web開催	58	静岡県資源環境技術研究会、静岡県プラスチック技術研究会
R4. 3. 24	化粧品開発につながる基礎研究フォーラム	Web開催	139	静岡県立大学、(公財)静岡県産業振興財団
実施回数 21回			参加者数 968人	

※) Web開催については、接続端末数

(b) 沼津工業技術支援センターの実績

年月日	件名	会場	参加人数 ^{※)}	共催等
R3. 6. 30	令和3年度静岡県バイオテクノロジー研究会特別講演会	Web開催	21	静岡県バイオテクノロジー研究会
R3. 11. 18	令和3年度静岡県バイオテクノロジー研究会見学会	Web開催	20	静岡県バイオテクノロジー研究会
R3. 11. 30	セミナー「5軸加工と金属積層でモノづくりの高度化を加速する」	沼津工業技術支援センター	41	沼津センター協議会、静岡県東部精密技術研究会
実施回数 3回			参加者数 82人	

※) Web開催については、接続端末数

(c) 富士工業技術支援センターの実績

年月日	件名	会場	参加人数 ^{※)}	共催等	
R3. 6. 11	静岡県紙パ技術研究フォーラム勉強会	富士工業技術支援センター	6	静岡県紙パ技術研究フォーラム	
R3. 7. 15	紙関連技術講演会	富士工業技術支援センター	第1回	31	(一社)静岡県紙パルプ技術協会
R3. 12. 1			第2回	31	
R4. 3. 15			第3回	43	
R3. 11. 29	非接触温度センサー活用セミナー	Web開催	8	富士センター協議会機械・電子部会	
R4. 2. 8	CFRP 材料の開発動向と量産成形の最前線	Web開催	27	富士センター協議会機械・電子部会	
R4. 3. 1- R4. 3. 31	ふじのくにCNFプロジェクトCNF技術者研修	富士工業技術支援センター	11	富士センター協議会	
R4. 3. 18	CNF実践セミナー	富士工業技術支援センター	9	富士センター協議会、富士市CNFプラットフォーム、富士市	
実施回数 8回			参加者数 166人		

※) Web開催については、接続端末数

(d) 浜松工業技術支援センターの実績

年月日	件名	会場	参加人数 ^{※)}	共催等
R3. 4. 22	浜松品質工学研究会定例会	Web開催	15	浜松品質工学研究会
R3. 5. 27			13	
R3. 6. 17			15	
R3. 7. 29			16	
R3. 8. 26			18	
R3. 9. 28			12	
R3. 10. 28			20	
R3. 11. 25			12	
R3. 12. 23			12	
R4. 1. 27			22	
R4. 2. 24			16	
R4. 3. 24			23	
R3. 6. 8			パラメータ設計入門講座	
R3. 7. 15	目視外検査の自動化	Web開催	67	浜松機械技術研究会
R3. 7. 15	ロボット導入を成功させるために重要なこと	Web開催	28	浜松機械技術研究会
R3. 11. 1	Solidworks活用セミナー	Web開催	31	浜松機械技術研究会
R3. 11. 12	はままつ超ハイテン研究会講演会2021「超ハイテン材料による自動車づくりの新潮流」	静岡大学工学部佐鳴会館	49	はままつ超ハイテン研究会
R3. 12. 1	切削工具の基礎	Web開催	67	浜松機械技術研究会
R3. 12. 9	3Dスキャンデータの形状・幾何公差検査	Web開催	8	浜松機械技術研究会
実施回数 19 回			参加者数 462 人	

※) Web開催については、接続端末数

(カ) 講師活動

a 工業技術研究所及び工業技術支援センターの合計

	活動回数	参加者数
工業技術研究所	25	595
沼津工業技術支援センター	6	264
富士工業技術支援センター	2	57
浜松工業技術支援センター	15	853
合計	48	1,769

(a) 工業技術研究所の実績

年月日	講習会等の名称	会場	参加者数※	主催	講師氏名	
R3.6.22	わかりやすいIoTを用いた現場実装講座	工業技術研究所	10	静岡県IoT活用研究会	岩崎清斗	
R3.8.5	総合食品学講座	静岡産業経済会館	10	(公財)静岡県産業振興財団	長房秀幸 石橋佳奈	
R3.9.30					工業技術研究所	19
		10	松野正幸			
			11			
R3.10.5		工業技術研究所	9		浅沼俊倫	
			10		松野正幸	
			7		渡瀬隆也	
R3.10.12		工業技術研究所	14			山下里恵 渡瀬隆也 浅沼俊倫 松野正幸 袴田雅俊 長房秀幸 石橋佳奈
R3.10.14						微生物基礎実習

年月日	講習会等の名称	会場	参加者数※	主催	講師氏名
R3. 8. 24	IoT入門研修会 ～導入事例の紹介と機器の実演～	Web開催	21	北海道立工業技術センター	赤堀 篤
R3. 8. 27	第68回日本食品科学工学会大会シンポジウム「地域食品研究のエクセレンス」	Web開催	70	日本食品科学工学会大会	渡瀬隆也
R3. 9. 8	IoT大学連携講座（実装成果発表会in静岡）	Web開催	10	静岡県IoT活用研究会	岩崎清斗
R3. 9. 16	わかりやすいIoTを用いた現場実装講座	浜松工業技術支援センター	8	静岡県IoT活用研究会	岩崎清斗
R3. 9. 17	ものづくり研究部会	Web開催	20	日本生理人類学会	大賀久美
R3. 11. 13	フードサイエンス講座（微生物に関連したトラブルシューティング、発酵食品開発ストーリー）	工科短期大学校静岡キャンパス	15	静岡県立工科短期大学校	袴田雅俊
R3. 11. 19	第11回産業振興フェアinいわた 静岡県研究所と企業のオンライン交流会	Web開催	44	磐田市 磐田商工会議所 磐田市商工会	田中伸佳 中山 洋
R3. 12. 8	地域食材学B	Web開催	106	静岡県立大学	渡瀬隆也
R3. 12. 10	IoT大学連携講座（実装成果発表会in浜松）	浜松工業技術支援センター	10	静岡県IoT活用研究会	岩崎清斗
R3. 12. 13	第31回日本MRS年次大会 エコものづくりセッション	Web開催	50	日本MRS	菊池圭祐
R3. 12. 15 ～17	静岡県創エネ・蓄エネ技術開発推進協議会 令和3年度視察会	Web開催	5	静岡県創エネ・蓄エネ技術開発推進協議会	太田良和弘
R3. 12. 17	わかりやすいIoTを用いた現場実装講座	沼津工業技術支援センター	8	静岡県IoT活用研究会	竹居 翼
R4. 2. 1	静岡県つながる工場テストベッド事業お披露目会	Web開催	70	工業技術研究所	赤堀 篤
R4. 2. 8	照明技術の基礎知識と目視検査への活用セミナー	Web開催	37	公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構、フォトンバレーセンター	田代知範
R4. 2. 24	IoT大学連携講座（実装成果発表会in沼津）	Web開催	8	静岡県IoT活用研究会	竹居 翼
活動回数 25回			参加者数 595人		

※) Web開催については、接続端末数

(b) 沼津工業技術支援センターの実績

年月日	講習会等の名称	会場	参加者数※	主催	講師氏名
R3. 10. 1	幾何公差（実践活用編）	沼津工業技術支援センター	2	工科短期大学校沼津キャンパス	本多正計 船井 孝
R3. 10. 21	三次元測定機の取扱について	南部化成（株）裾野事業所	3	南部化成（株）裾野事業所	船井 孝
R3. 11. 19	第11回産業振興フェア in いわた 静岡県研究所と企業のオンライン交流会	Web開催	44	磐田市 磐田商工会議所 磐田市商工会	鬼久保郁雄
R3. 11. 30	セミナー「5軸加工と金属積層でモノづくりの高度化を加速する」	沼津工業技術支援センター	41	沼津センター協議会	是永宗祐
R4. 2. 23	令和3年度誉富士セミナー	静岡県酒造組合	114	静岡県誉富士普及推進協議会	勝山 聡
R4. 3. 4	第70回水産加工技術セミナー／マリンオープンイノベーション機構研修会	静岡県水産・海洋技術研究所	60	静岡県、（一財）マリンオープンイノベーション機構	岩原健二
活動回数 6 回			参加者数 264 人		

※) Web開催については、接続端末数

(c) 富士工業技術支援センターの実績

年月日	講習会等の名称	会場	参加者数※	主催	講師氏名
R3. 10. 28	センター入居企業支援連絡会	Web開催	13	ファルマバレーセンター	大竹正寿
R3. 11. 19	第11回産業振興フェア in いわた 静岡県研究所とのオンライン交流会	Web開催	44	磐田市 磐田商工会議所 磐田市商工会	飯野 修
活動回数 2 回			参加者数 57 人		

※) Web開催については、接続端末数

(d) 浜松工業技術支援センターの実績

年月日	講習会等の名称	会場	参加者数※	主催	講師氏名
R3. 6. 10	経営システム工学	静岡大学	39	静岡大学	針幸達也
R3. 6. 25	ポスター作成スキルアップ講座	浜松工業高校	20	浜松工業高校	吉岡正行
R3. 6. 25	令和3年度新任研究員交流会	工業技術研究所	25	産業イノベーション推進課	田光伸也
R3. 6. 29	第41回機器分析講座（赤外分光法の基礎と応用）	Web開催	150	静岡理工科大学	吉岡正行
R3. 9. 8	レーザー中核人材 映像実習1	Web開催	40	光産業創成大学院大学	山下清光
R3. 9. 21 ～22	デジタル化等促進在職者訓「3D-CAD&3Dプリンター活用法」	浜松工業技術支援センター	5	浜松技術専門校（テクノカレッジ）	小粥基晴 長田貴将
R3. 9. 30	デジタル化等促進在職者訓「TIG溶接と試験・検査法」	浜松工業技術支援センター	3	浜松技術専門校（テクノカレッジ）	植松俊明
R3. 10. 20	レーザー中核人材 映像実習2	FUSE（ザザシティー浜松内）	40	光産業創成大学院大学	鷺坂芳弘 山下清光
R3. 11. 18	中部レーザ応用技術研究会第112回研究会	Web開催	33	中部レーザ応用技術研究会	鷺坂芳弘
R3. 11. 19	第11回産業界振興フェアinいわた 静岡県の研究所とのオンライン研究会	Web開催	44	磐田市 磐田商工会議所 磐田市商工会	宮原鐘一
R3. 12. 13	令和3年度第4回企業懇話会	Web開催、磐田商工会議所	32	磐田商工会議所	吉岡正行
R4. 1. 12	光だから出来る3次元計測器を使いこなそう	森町総合体育館館森アリーナ	52	浜松地域イノベーション推進機構 フォトンバレーセンター	渥美博安
R4. 2. 10	残留応力Webinar	Web開催	230	ルステック工業株式会社	小粥基晴
R4. 3. 3 ～25	JKA導入機器普及講習セミナー	Web(ふじのくにネットテレビ・Youtube)	105	浜松工業技術支援センター	吉岡正行
R4. 3. 15	塑性加工学会レーザ加工分科会第1回技術セミナー 医療材料加工分科会第6回研究会	Web開催	35	塑性加工学会レーザ加工分科会、医療材料加工分科会	鷺坂芳弘
活動回数 15回			参加者数 853人		

※) Web開催については、接続端末数

(キ) 委員派遣

a 工業技術研究所及び工業技術支援センターの実績合計

	派遣回数	延べ派遣者数
工業技術研究所	69	69
沼津工業技術支援センター	26	36
富士工業技術支援センター	31	31
浜松工業技術支援センター	105	105
合計	231	241

(a) 工業技術研究所の実績

年月日	委員会等の名称	会場	主催	派遣者氏名
R3.4.15	経営革新計画承認審査	県庁	静岡県	鈴木敬明
R3.4.21	(公社)日本鑄造工学会軽合金研究部会	(Web)	(公社)日本鑄造工学会軽合金研究部会	岩澤 秀
R3.5.21	静岡情報産業協会総会	(Web)	静岡県情報産業協会	杉山直人
R3.5.27	機能性表示食品等研究開発推進事業審査委員会	静岡県産業経済会館	(公財)静岡県産業振興財団	杉山直人
R3.6.3	令和3年度総合食品学講座推進委員会	静岡県産業経済会館	(公財)静岡県産業振興財団	山下里恵
R4.3.2				
R4.6.3	令和3年度食品等開発助成事業及び化粧品等研究開発推進事業審査委員会	静岡県産業経済会館	(公財)静岡県産業振興財団	山下里恵
R3.6.7	ISO国内委員会	(Web)	(一財)日本規格協会	柳原 亘
R3.8.27				
R3.12.15				
R4.3.1				
R3.6.8	新成長産業戦略的育成事業助成事業審査会	静岡県産業経済会館	(公財)静岡県産業振興財団	杉山直人
R3.6.9	令和3年度大学発ベンチャー事業化加速・推進事業費補助金審査委員会	(Web)	静岡県	田中伸佳

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R3. 6. 11	加工食品輸出スタートアップ 支援事業助成金審査委員会	静岡県産業経済会館	(公財) 静岡県産 業振興財団	杉山直人
R3. 6. 14	医療機器産業基盤強化推進 事業助成金審査委員会	静岡県産業経済会館	(公財) 静岡県産 業振興財団	杉山直人
R3. 6. 17				
R3. 6. 15	静岡市産学共同研究委託事 業選考審査会	静岡市産学交流セン ター	静岡市産学交流セ ンター	鈴木敬明
R3. 6. 16	次世代自動車技術革新対応 促進助成事業審査会	静岡県産業経済会館	(公財) 静岡県産 業振興財団	杉山直人
R3. 6. 18	(公社) 日本鑄造工学会東 海支部工場見学部会	(Web)	(公社) 日本鑄造工 学会東海支部工場 見学部会	岩澤 秀
R3. 7. 29				
R3. 10. 1				
R3. 11. 26	(公社) 日本鑄造工学会東 海支部工場見学部会	(Web)	(公社) 日本鑄造工 学会東海支部工場 見学部会	岩澤 秀
R3. 12. 24				
R4. 2. 9				
R4. 2. 23				
R3. 6. 23	静岡市産学交流センター運 営委員会	静岡市産学交流セン ター	静岡市産学交流セ ンター	鈴木敬明
R3. 6. 24	静岡県環境放射能測定技術 会	(Web)	静岡県	杉山直人
R3. 9. 8				
R3. 11. 18				
R3. 6. 25	日本食品科学工学会中部支 部運営委員会	(Web)	日本食品科学工学 会中部支部	渡瀬隆也
R3. 12. 11		グランシップ		
R3. 7. 1	静岡地域産学連携コーデ ィネータ会議 (第1回)	静岡市産学交流セン ター	静岡市産学交流セ ンター	鈴木敬明
R3. 7. 2	文献情報委員会	(Web)	(一財) 法人照明 学会	田代知範
R3. 8. 2				
R3. 8. 25				
R3. 10. 29				
R3. 12. 17				
R4. 3. 1				

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R3. 7. 9	令和3年度海洋技術開発促進事業費補助金審査委員会	(Web)	静岡県	田中伸佳
R4. 3. 15				
R3. 7. 13	令和3年度マリンオープンイノベーション事業化促進事業費補助金審査委員会	(Web)	静岡県	田中伸佳
R4. 3. 14				
R3. 8. 4	JIS原案作成委員会	(Web)	(一社) 日本規格協会	柳原 亘
R3. 9. 30				
R3. 12. 24				
R4. 3. 29	JIS原案作成委員会	(Web)	(一社) 日本規格協会	柳原 亘
R3. 8. 16	令和3年度食品等開発助成事業審査委員会	静岡県産業経済会館	(公財) 静岡県産業振興財団	山下里恵
R3. 8. 20	令和3年度水素エネルギー関連ビジネス参入支援業務委託 提案選定委員会	(Web)	エネルギー政策課	太田良和弘
R3. 9. 3	2021グッドデザインしずおか一次審査	(Web)	静岡県	杉山直人
R3. 11. 22	2021グッドデザインしずおか二次審査			
R3. 9. 13	令和3年度 グリーン科学技術研究所外部評価委員会	(Web)	グリーン科学技術研究所	杉山直人
R3. 9. 14	県科学技術振興表彰選考委員会	(Web)	静岡県	杉山直人
R3. 9. 27	「ふじのくに未来のエネルギー推進会議」総合戦略検討作業部会	(Web)	エネルギー政策課	太田良和弘
R3. 11. 17				
R4. 1. 12				
R3. 10. 21	令和3年度第69回静岡県学生児童発明くふう展	静岡県産業経済会館	(一社) 法人静岡県発明協会	多々良哲也
R3. 11. 16	静岡理科大学30周年記念式典	ホテルクラウンパレス浜松	静岡理科大学	杉山直人
R3. 11. 17	県科学技術振興表彰式	県庁	静岡県	杉山直人
R3. 11. 18	静岡県環境放射能測定技術会	(Web)	静岡県	杉山直人
R3. 11. 30	経営革新承認審査	県庁	静岡県	鈴木敬明

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R3. 12. 7	静岡市産学交流センター運営委員会	静岡市産学交流センター	静岡市産学交流センター	鈴木敬明
R4. 1. 10	焼津水産ブランド審査会 (専門審査員)	(Web)	焼津商工会議所	山下里恵
R4. 1. 19	医療用ガウン生産実証業務 委託企画提案審査委員会	県庁	静岡県	杉山直人
R4. 1. 26	第1回関東技術交流分科会 幹事会	(Web)	関東技術交流分科会	鈴木敬明
R4. 2. 15	マリンオープンイノベーション プロジェクト戦略推進 委員会	(Web)	静岡県	杉山直人
R4. 2. 16	新成長産業戦略的育成事業 助成事業推進会議	静岡県産業経済会館	(公財) 静岡県産業 振興財団	杉山直人
R4. 2. 17	フーズ・ヘルスケア オープン イノベーションプロジェクト 戦略検討委員会	(Web)	静岡県	杉山直人
R4. 2. 18	静岡市福祉用具検討会	(書面)	静岡市	小松 剛
R4. 2. 24	新成長産業戦略的育成事業 助成事業継続審査会	静岡県産業経済会館	(公財) 静岡県産業 振興財団	杉山直人
派遣回数 69 回			派遣人数 (延べ) 67 人	

(b) 沼津工業技術支援センターの実績

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R3. 5. 7	令和3年静岡県杜氏研究会	ホテルアソシア静岡	静岡県杜氏研究会	勝山 聡 鈴木雅博
R3. 5. 14	令和3年静岡県清酒鑑評会	沼津工業技術支援センター	静岡県酒造組合	大川勝正 勝山 聡 鈴木雅博
R3. 5. 19	令和3年度富士山麓産業支援ネットワーク会議	(Web)	(公財) ふじのくに医療城下町推進機構ファルマバレーセンター	飯塚千佳世
R3. 7. 27				
R3. 9. 30				
R3. 11. 17				
R4. 1. 19				
R4. 3. 18				
R3. 5. 21	令和3年静岡県清酒鑑評会表彰式	ホテルアソシア静岡	静岡県酒造組合	大川勝正 鬼久保郁雄 勝山 聡 鈴木雅博
R3. 6. 17	静岡県誉富士普及推進会議幹事会	(書面)	静岡県誉富士普及推進会議幹事会	大川勝正
R3. 6. 18	2021年度富士山麓アカデミック&サイエンスフェア実行委員会	(Web)	2021年度富士山麓アカデミック&サイエンスフェア実行委員会	飯塚千佳世
R4. 1. 25				
R3. 7. 2	令和3年度静岡化学工学懇話会	(書面)	静岡化学工学懇話会	鬼久保郁雄
R3. 7. 30	静岡県創業者育成施設使用承認資格審査に係る事前ヒアリング	(Web)	静岡県	鬼久保郁雄 飯塚千佳世
R3. 10. 5				
R3. 10. 25				
R3. 8. 12	静岡県東部地域技術振興協議会	(書面)	静岡県東部地域技術振興協議会	大川勝正
R3. 8. 19	静岡県創業者育成施設使用室変更に係るヒアリング	沼津インキュベーターセンター	静岡県	鬼久保郁雄 飯塚千佳世
R3. 8. 23	静岡県創業者育成施設入居審査委員会	(Web)	静岡県	大川勝正
R3. 10. 26				

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R3. 9. 14	静岡県科学技術振興表彰選考委員会	(Web)	静岡県	大川勝正
R3. 10. 1	令和3年度名古屋国税局酒類鑑評会品質評価会	名古屋国税局鑑定官室	名古屋国税局	勝山 聡
R3. 11. 9				
R4. 3. 15				
R4. 2. 25	令和3事務年度全国市販酒類調査	名古屋国税局鑑定官室	名古屋国税局	勝山 聡
R4. 3. 10	愛知県新酒品評会	あいち産業科学技術総合センター食品技術センター	愛知県酒造組合	勝山 聡
派遣回数 26回			派遣人数(延べ) 36人	

(c) 富士工業技術支援センターの実績

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R3. 4. 22	岳南地域地下水利用会議対策協議会令和3年度第1回委員・幹事合同会議	富士市役所	岳南地域地下水利用会議対策協議会	飯野修
R3. 5. 19	令和3年度富士山麓産業支援ネットワーク会議	(Web)	(公財) ふじのくに医療城下町推進機構ファルマバレー センター	三宅健司
R3. 7. 27				
R3. 9. 30				
R3. 11. 17				
R4. 1. 19				
R4. 3. 18				
R3. 6. 18	2021年度富士山麓アカデミック&サイエンスフェア実行委員会	(Web)	2021年度富士山麓アカデミック&サイエンスフェア実行委員会	三宅健司
R4. 1. 25				
R3. 8. 3	CNF活用試作品開発事業補助金審査委員会	県庁	新産業集積課	佐野禎彦
R3. 8. 3	富士市SDGsものづくり事業支援補助金審査	富士市役所	富士市	飯野 修
R3. 8. 11	富士ブランド推進会議	富士商工会議所	富士商工会議所	佐野禎彦
R3. 8. 19	県紙パルプ技術協会理事会	ホテルグランド富士	県紙パルプ技術協会	佐野禎彦
R3. 12. 15				
R4. 3. 16				
R3. 9. 14	県科学技術振興表彰審査会	(Web)	静岡県	佐野禎彦
R3. 9. 30	「紙パルプの技術」編集委員会	(書面)	(一社) 静岡県紙パルプ技術協会	杉本芳邦
R4. 2. 17				
R3. 10. 13	紙パルプ技術協会木材科学委員会	(Web)	紙パルプ技術協会	佐野禎彦
R3. 12. 7				
R4. 3. 3				

(d) 浜松工業技術支援センターの実績

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R3. 4. 14	電線総合技術センター適合性評価委員会	(電子的手段)	(一社) 電線総合技術センター	宮原鐘一
R3. 4. 25		(Web)		
R3. 5. 23		(Web)		
R3. 5. 30		(電子的手段)		
R3. 6. 20		(Web)		
R3. 7. 8		(電子的手段)		
R3. 7. 20		(Web)		
R3. 8. 24		(Web)		
R3. 9. 1		(電子的手段)		
R3. 9. 26		(Web)		
R3. 10. 13		(電子的手段)		
R3. 10. 17		(電子的手段)		
R3. 10. 28		(電子的手段)		
R3. 11. 11		(電子的手段)		
R3. 11. 25	(Web)			
R3. 4. 19	HFP定例会	浜松商工会議所会館	(一社) 静岡県繊維協会	鈴木一之
R3. 5. 20				
R3. 6. 22				
R3. 7. 20				
R3. 8. 24				
R3. 9. 20				
R3. 10. 18				
R3. 12. 20				
R4. 1. 17				
R4. 2. 9				
R4. 3. 14				

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R3. 5. 12	戦略的基盤技術高度化支援事業（テーマ：難加工材の微細・高精度成形を可能にする温間順送プレス工法の開発）研究実務者会議	(株)南部製作所	(公財) 浜松地域イノベーション推進機構	木野浩成
R3. 6. 15				
R3. 9. 21		(Web)		
R3. 10. 22		(株)南部製作所		
R3. 12. 1				
R3. 5. 18	KECシェアードミーティング	(Web)	KEC関西電子工業振興センター	山田浩文
R3. 6. 8				
R3. 7. 7				
R3. 7. 15				
R3. 5. 20	随時級・基礎級技能検定実技試験検定委員	(株)ヤマテ工業	静岡県職業能力開発協会	田光伸也
R3. 6. 4		(株)村松製作所		
R3. 6. 7		(有)太陽メッキ工業所		
R3. 7. 12		三美鍍金工業(株)		
R3. 7. 12		丸長鍍金(株)		
R3. 7. 14		タイコエレクトロニクスジャパン合同会社		
R3. 7. 21		電化工業(株)		
R3. 7. 26		(有)鷺津メッキ工業所		
R3. 8. 19		(株)ミヤキ		
R3. 8. 25		丸長鍍金(株)浜松工場		
R3. 10. 19		三光製作(株)		
R3. 11. 2		大佑工業(株)		
R4. 1. 17		丸長鍍金(株)浜松工場		
R4. 2. 4		神谷理研(株)		
R4. 3. 22		(株)ミヤキ		

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R3. 5. 24	A-SAP採択審査会	フotonバレーセンター	(公財) 浜松地域 イノベーション推 進機構	松田稔
R3. 8. 26		(Web)		
R3. 11. 2		フotonバレーセンター		
R3. 6. 3	戦略的基盤技術高度化支援 事業 (テーマ: 次世代自動 車向け軸付きはすば歯車の 冷間鍛造新製法にかかる研 究開発) 研究実務者会議	金田工業 (株)	(公財) 浜松地域 イノベーション推 進機構	木野浩成
R3. 9. 16		(Web)		
R3. 12. 15		金田工業(株)		
R3. 6. 9	はままつ知財研究会総会	(書面)	(公財) 浜松地域 イノベーション推 進機構	松田稔
R3. 6. 14	技術委員会 第一分科会	(Web)	中部エレクトロニ クス振興会	山田浩文
R3. 6. 16				
R3. 8. 17				
R3. 9. 14				
R3. 11. 15				
R3. 12. 16				
R3. 6. 15	静岡化学工学懇話会役員会	(書面)	静岡化学工学懇話 会	松田稔
R3. 7. 2	静岡化学工学懇話会総会	(書面)		
R3. 6. 21	令和3年度光・電子技術活用 促進事業費補助金審査会	静岡大学イノベーシ ョン社会連携推進機 構	(公財) 浜松地域 イノベーション推 進機構	宮原鐘一
R3. 8. 25		(Web)		
R3. 6. 30	令和3年度医工連携スター トアップ支援事業審査会	アクトシティ浜松 コンgresセンター	はままつ次世代 光・健康医療産業 創出拠点	宮原鐘一
R4. 2. 23	令和3年度医工連携スター トアップ支援事業成果報告 会	ホテルクラウンパレ ス浜松		
R3. 7. 16	戦略的基盤技術高度化支援 事業 (テーマ: 次世代自動 車向け軸付きはすば歯車の 冷間鍛造新製法にかかる研 究開発) 研究推進委員会	金田工業(株)引佐工場	(公財) 浜松地域 イノベーション推 進機構	木野浩成
R4. 2. 17		金田工業(株)本社		

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R3. 7. 20	戦略的基盤技術高度化支援事業（テーマ：難加工材の微細・高精度成形を可能にする温間順送プレス工法の開発）研究推進委員会	(株)南部製作所	(公財) 浜松地域イノベーション推進機構	木野浩成
R4. 2. 16				
R3. 7. 21	試作部品等製作委託制度審査会	次世代自動車センター	(公財) 浜松地域イノベーション推進機構	松田稔
R3. 9. 9				
R3. 7. 26	静岡理科大学モータードライブ応用研究会役員会	静岡理科大学	静岡理科大学	吉岡正行
R3. 7. 30	静岡理科大学モータードライブ応用研究会総会			
R3. 7. 28	静岡理科大学金型研究会役員会及び総会	静岡理科大学	静岡理科大学	吉岡正行
R3. 8. 16	IoT通信プラットフォーム開発委託審査会	(Web)		宮原鐘一
R3. 9. 2	塑性加工学会編集委員会	(Web)	塑性加工学会	鷺坂芳弘
R3. 11. 17				
R3. 12. 26				
R4. 1. 25				
R4. 3. 21				
R4. 1. 25	塑性加工学会編集委員会リーダー会議			
R4. 3. 21				
R3. 9. 13	車載EMC計測技術開発WG	(Web)	直轄産業振興センターADOX福岡	山田浩文
R3. 11. 9				
R3. 11. 25～26				
R3. 12. 8		(Web)	KEC関西電子工業振興センター	
R4. 1. 23				
R4. 1. 25				
R4. 2. 9				

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R3. 9. 20	はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点第79回事業運営委員会 ワーキング会議	(Web)	はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点	山下清光
R3. 11. 25				
R4. 1. 17				
R4. 3. 14				
R3. 9. 30	レーザー中核人材企画運営会議	(Web)	光産業創成大学院大学	鷺坂芳弘
R4. 3. 3				
R3. 11. 16	浜松ものづくりマイスター現地調査	浜松市役所	(公財) 浜松地域イノベーション推進機構	松田 稔
R3. 12. 5	JIS溶接技能者評価試験立会委員	浜松技術専門校	静岡県溶接工業協同組合	木野浩成
R4. 3. 6				
R4. 3. 9	KECシェアードミーティング	(Web)	KEC関西電子工業振興センター	山田浩文
R4. 3. 22	はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点 令和3年度 第1回事業運営委員会	浜松商工会議所会館	はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点	山下清光
R4. 3. 23	はままつ知財研究会幹事会	アクトシティ浜松コングレスセンター	(公財) 浜松地域イノベーション推進機構	松田 稔
派遣回数 105 回			派遣人数 (延べ)	105 人

(ク) 産業技術連携推進会議等への派遣

a 工業技術研究所及び工業技術支援センターの実績合計

	派遣回数	延べ派遣者数
工業技術研究所	42	59
沼津工業技術支援センター	11	11
富士工業技術支援センター	8	12
浜松工業技術支援センター	20	26
合計	81	108

(a) 工業技術研究所の実績

年月日	会議等の名称	会場	主催	派遣者氏名
R3.4.28	産技連 関東甲信越静岡地域 部会企画調整分科会	(Web)	産技連	鈴木敬明 油上 保
R3.7.8				
R3.4.26	つながる工場テストベッド 事業打合せ	(Web)	工業技術研究所	赤堀 篤
R3.8.31				
R3.12.21		工業技術研究所		
R4.2.1		(Web)		
R3.5.26	産技連LS-BT分科会	(Web)	産業技術連携推進 会議	渡瀬隆也
R3.6.10	デザイン分科会	(Web)	山口県	小松 剛 易 強 多々良哲也
R3.11.11 ~12		まつもと市民芸術館	長野県	小松 剛 多々良哲也
R3.6.21	中部イノベネット運営委員 会	(Web)	中部イノベネット	杉山直人
R3.7.7	産技連東海北陸地域地域産 技連及び東海・北陸地域部 会合同総会	(Web)	産技連東海北陸地 域産技連 産技連東海・北陸 地域部会	杉山直人

年月日	会議等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R3. 7. 15	静岡県-産総研との連携に係る連絡会議	(Web)	産総研	鈴木敬明
R3. 9. 27				
R3. 12. 8				
R4. 3. 3				
R3. 7. 21	令和3年度 関東甲信越地区食品醸造研究会	(Web)	農研機構	袴田雅俊
R3. 8. 23	産総研企画調整分科会	(Web)	産総研	鈴木敬明
R3. 9. 24	令和3年度中部公設試験研究機関長会・研究者表彰式	(Web)	中部科学技術センター	杉山直人
R3. 9. 24	産業技術連携推進会議ナノテクノロジー・材料部会第15回木質科学分科会	(書面)	産業技術連携推進会議ナノテクノロジー・材料部会木質科学分科会	長澤 正
R3. 9. 27	静岡県-産総研との連携に係る連絡会議	(Web)	産総研	鈴木敬明
R3. 12. 8				
R4. 3. 3				
R3. 10. 15	産業技術連携推進会議製造プロセス部会第27回表面技術分科会	(Web)	(地独) 東京都立産業技術研究センター	田中宏樹 望月玲於
R3. 10. 22	TKF及びMTEP会議	(Web)	TKF、MTEP	杉山直人
R3. 10. 28 ~29	情報技術分科会音・振動研究会	(Web)	産技連	木野直樹
R3. 10. 29	産技連関東甲信越静地域部会総会	(Web)	産技連関東甲信越静地域部会	杉山直人 鈴木敬明
R3. 10. 29	全国食品関係試験研究場所長会 中部・近畿ブロック会議	(Web)	全国食品関係試験研究場所長会	杉山直人 油上 保 山下里恵
R3. 12. 24				
R3. 11. 11	産業技術連携推進会議 製造プロセス部会 第28回塗装工学分科会	(Web)	産業技術連携推進会議 製造プロセス部会塗装工学分科会	渡邊雅之
R3. 11. 11	産業技術連携推進会議 ナノテクノロジー・材料部会 第59回 高分子分科会	(Web)	あいち産業科学技術総合センター産業技術センター	菅野尚子 稲葉彩乃

年月日	会議等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R3. 11. 26	2021年度産業技術連携推進 会議 東海・北陸地域部会 機械・金属分科会	(Web)	三重県工業研究所	長谷川和宏 岩澤 秀
R3. 12. 9	産技連 情報・電子デバイ ス分科会	(Web)	産技連情報・電子 デバイス分科会	中山 洋
R3. 12. 9	令和3年度産業技術連携推 進会議 東海・北陸地域部 会 情報・電子デバイス分 科会	(Web)	岐阜県産業技術総 合センター	赤堀篤
R3. 12. 9	計測分科会光放射計測研究 会	(Web)	産技連	豊田敏裕 田代知範 柳原 亘
R3. 12. 24	全国食品関係試験研究場所 長会 中部ブロック会議	(Web)	全国食品関係試験 研究場所長会	杉山直人
R4. 1. 26	産技連関東甲信越静地域部 会第1回関東技術交流分科 会幹事会	(Web)	産技連関東甲信越 静地域部会	鈴木敬明
R4. 1. 28	令和3年度 FHCaOI産学官 金連携会議	(Web)	新産業集積課	山下里恵 浅沼俊倫
R4. 1. 28	業技術連携推進会議 環 境・エネルギー部会・分科 会・研究会合同総会	(Web)	産業技術連携推進 会議 環境・エネ ルギー部会・分科 会・研究会	太田良和弘 井口大輔
R4. 2. 1	静岡県つながる工場テスト ベッド事業お披露目会	(Web)	工業技術研究所	赤堀 篤
R4. 2. 9	第62回産技連総会	(Web)	産技連	杉山直人
R4. 3. 4	全国食品関係試験研究場所 長会総会	(Web)	全国食品関係試験 研究場所長会	杉山直人
R4. 3. 16	産技連関東甲信越静地域部 会第1回関東技術交流分科 会	(Web)	産技連関東甲信越 静地域部会	鈴木敬明
派遣回数 42回			派遣人数(延べ) 59人	

注) 産技連：産業技術連携推進会議
農研機構：(国研)農業・食品産業技術総合研究機構
産総研：(国研)産業技術総合研究所
TKF：首都圏テクノナレッジフリーウェイ
MTEP：広域首都圏輸出製品技術支援センター

(b) 沼津工業技術支援センターの実績

年月日	会議等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R3. 4. 23	静岡県-産総研との連携に係る連絡会議	(Web)	産総研	鬼久保郁雄
R3. 7. 15				
R3. 8. 27				
R3. 11. 16				
R3. 12. 8				
R4. 3. 3				
R4. 3. 25				
R3. 7. 7	2021年度産技連 東海北陸地域産技連 東海・北陸地域部会総会	(Web)	東海北陸地域産技連 東海・北陸地域部会	大川勝正
R3. 9. 24	令和3年度中部公設試験研究機関長会	(Web)	中部科学技術センター	大川勝正
R3. 10. 29	産技連関東甲信越静地域部会総会	(Web)	産技連関東甲信越静地域部会 産技連 関東甲信越静地域部会 関東経産局 産総研	大川勝正
R4. 2. 9	令和3年度第62回産技連推進会議総会	(Web)	産業技術連携推進会議 事務局	大川勝正
派遣回数 11回			派遣人数(延べ) 11人	

注) 産技連：産業技術連携推進会議
産総研：(国研) 産業技術総合研究所

(c) 富士工業技術支援センターの実績

年月日	会議等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R3. 7. 7	産技連東海北陸地域地域産技連及び東海・北陸地域部会合同総会	(Web)	産技連東海北陸地域産技連 産技連東海・北陸地域部会	佐野禎彦
R3. 9. 24	中部公設試験研究機関機関長会	(Web)	(公財) 中部科学技術センター	佐野禎彦
R3. 7. 15	静岡県-産総研との連携に係る連絡会議	(Web)	産総研	飯野 修
R3. 9. 27				
R3. 12. 8				
R4. 3. 3				
R3. 10. 29	産技連関東甲信越静岡地域部会総会	(Web)	産技連関東甲信越静岡地域部会	佐野禎彦
R3. 11. 18	令和3年度 産技連 製造プロセス部会 精密微細加工分科会 積層造形研究会	(Web)	産技連	本間信行
R3. 12. 10 ~27	産技連ナノテクノロジー・材料部会紙・パルプ分科会	(Web)	産技連ナノテクノロジー・材料部会紙・パルプ分科会	佐野禎彦 飯野修 杉本芳邦 深沢博之 齊藤和明
R4. 2. 9	産技連総会	(Web)	産技連	佐野禎彦
派遣回数 8 回			派遣人数 (延べ) 12 人	

注) 産技連：産業技術連携推進会議
産総研：(国研)産業技術総合研究所

(d) 浜松工業技術支援センターの実績

年月日	会議等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R3. 5. 27	産技連 繊維分科会 東海地域連絡会総会	(電子メール)	産技連ナノテクノロジー・材料部会 繊維分科会	鈴木一之
R3. 6. 2	第8回コンポジットハイウェイコンソーシアムカンファレンス	(Web)	コンポジットコンソーシアムハイウェイ事務局	松田 稔
R3. 6. 17	産技連 繊維分科会 総会	(電子メール)	産技連ナノテクノロジー・材料部会 繊維分科会	鈴木一之
R3. 6. 21	炭素繊維高度利活用技術研究会	(Web)	産技連東海・北陸地域部会 機械・金属分科会 炭素繊維高度利活用技術研究会	鈴木一之 針幸達也 鈴木重好 森田達弥 大木結以
R3. 7. 7	東海北陸地域産術連 地域部会・合同総会	(Web)	産総研中部センター	松田 稔
R3. 7. 20	CHC実務担当者WG	(Web)	コンポジットハイウェイコンソーシアム事務局	鈴木一之
R3. 9. 1				
R3. 9. 24	中部公設試験研究機関 機関長会議	(Web)	中部科学技術センター	松田稔
R3. 9. 27	静岡県-産総研との連携に係る連絡会議	(Web)	産総研	宮原鐘一
R3. 12. 8				
R3. 10. 29	東甲信越静地域産技連推進会議 産技連関東甲信越静地域部会総会	(Web)	関東経済産業局 産総研	松田 稔
R3. 11. 18 ~19	令和3年度産技連 製造プロセス部会 精密微細加工分科会 積層造形研究会	山梨県立図書館 山梨県産業技術センター	山梨県産業技術センター	木野浩成
R3. 12. 14	繊維分科会 東海地域連絡会 地域企画委員会	(電子メール)	ナノテクノロジー・材料部会 繊維分科会	鈴木一之
R4. 1. 7	繊維分科会 幹事会	(電子メール)	ナノテクノロジー・材料部会 繊維分科会	鈴木一之
R4. 1. 20 ~21	産技連知的基盤部会EMC技術講習会	埼玉県産業技術総合センター	産技連知的基盤部会	上野貴康
R4. 2. 8	産技連東海北陸部会 企業支援策等説明会	(Web)	産総研中部センター	松田稔
R4. 2. 9	第62回産技連議総会	(Web)	産総研	松田稔

年月日	会議等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R4. 2. 9	炭素繊維高度利活用技術研究会	(電子メール)	東海・北陸地域部 会 機械・金属分 科会 炭素繊維高 度利活用技術研究 会	鈴木一之 鈴木重好 森田達弥
R4. 3. 1	炭素繊維高度利活用技術研究会	(Web)	東海・北陸地域部 会 機械・金属分 科会 炭素繊維高 度利活用技術研究 会	鈴木重好
R4. 3. 16	産技連関東技術分野会	(Web)	産総研	松田稔
派遣回数 20回			派遣人数 (延べ) 26人	

注) 産技連：産業技術連携推進会議
産総研：(国研)産業技術総合研究所

(ケ) 学会等への発表、外部発行誌等への投稿及び展示会への出展

a 工業技術研究所及び工業技術支援センターの実績合計

	学会等発表回数 (ポスター発表 含む)	学会誌等投稿	一般誌投稿	展示会出展
工業技術研究所	10	5	6	0
沼津工業技術支援センター	1	4	1	11
富士工業技術支援センター	1	1	2	11
浜松工業技術支援センター	13	0	3	0
合計	25	10	12	22

(a) 工業技術研究所の実績 (※はポスター発表)

年月日	項 目	発 表 会 名	発表刊行物	発表者名
学会等への発表				
R3.5.14	植物抽出物の有する光保護作用のスクリーニングおよび皮膚透過性改善を指向した製剤の開発	日本薬剤学会第36年会	—	袴田雅俊 三宅健司 山下里恵
R3.5.25	チーズ製造に適した駿河湾由来乳酸菌の選抜※	I S - B T 合同研究発表 会	—	袴田雅俊
R3.5.26	ロコモ改善加工食品の開発			渡瀬隆也
R3.9.21	光学シミュレーションによる積分球のSRDFの検討	2021年度(第54回)照明学会全国大会	2021年度(第54回)照明学会全国大会予稿集	豊田敏裕 田代知範
R3.10.31	依頼講演：海洋由来乳酸菌を用いた発酵甘酒のメタボロミクス解析	第52回中部科学関係学協会支部連合秋季大会(静岡)	第52回中部科学関係学協会支部連合秋季大会 予稿集	浅沼俊倫
	依頼講演：セルロースナノファイバーによる香りの放散挙動及び機構解明			石橋佳奈
R3.11.10	茶の実油の脂肪酸組成と品種の関係	茶業学会研究発表会	—	渡瀬隆也

年月日	項目	発表会名	発表刊行物	発表者名
R3. 11. 11	デザインマッチング事業・研究・デザイン機器の紹介*	2021年度 産業技術連携推進会議 ライフサイエンス部会 第29回デザイン分科会	—	多々良哲也
R3. 11. 30	PPの形態が無水マレイン酸変性PPを含むCNF複合材料の物性に及ぼす影響	成形加工シンポジア' 21	プラスチック成形加工学会	菅野尚子
R4. 3. 16	豆乳の凍結融解分画に対するpHおよび塩濃度の条件検討	日本農芸化学会 2022年度大会	—	松野正幸
学会誌及び専門誌への投稿				
R3. 4. 8	Carotenoid Nostoxanthin Production by Sphingomonas sp. SG73 Isolated from Deep Sea Sediment	—	Marine Drugs	室伏敬太
R3. 6. 15	互跪姿勢による疲労感の軽減効果—酪農業における搾乳中の作業姿勢の提案—	—	人間工学	大賀久美
R3. 9. 30	高輝度発光面が動的刺激への応答特性に与える影響	—	照明学会誌	田代知範
R4. 2. 15	医療従事者によるユーザビリティテストにおける「思考発話法」と「インパクト分析」の有効性の検証	—	人間工学	大賀久美
R3. 11. 5	Pore Structures and Electric Double Layer Properties of Activated Carbon Derived from Demineralized Spent Coffee Grounds	—	電気化学会誌Electrochemistry	菊池圭祐
一般誌等への投稿				
R3. 5. 20	産学共同開発で、かつお節の香りやうま味を濃縮したエキスを商品化	—	ビジネスレポート	渡瀬隆也
R3. 7. 22	スマートフォンを活用した酸素ボンベ残量モニタの開発	—	月刊 J E T I	竹居 翼
R3. 8. 31	光源データの配光測定方法の違いがヘッドアップディスプレイの表示シミュレーションに与える影響	—	月刊 J E T I	豊田敏裕
R3. 11. 15	地域産学官連携によって育てた静岡バラプロジェクトの紹介	—	産学官連携ジャーナル	山下里恵
R4. 1. 1	(「地域食品機能性素材の発掘と商品開発」特集内) ウンシュウミカン (果汁)	—	月刊 食品工場長	松野正幸

年月日	項目	発表会名	発表刊行物	発表者名
R4.3.1	発酵を通じた食品・ヘルスケア分野の取り組み	-	FoodStyle21	袴田雅俊
展示会への出展				
実績なし				
合計件数 21 件		学会等発表 10 件・投稿等 11 件・展示会 0 件		

(b) 沼津工業技術支援センターの実績 (※はポスター発表)

年月日	項目	発表会名	発表刊行物	発表者名
学会等への発表				
R3. 10. 28	欠損導入によるグルタミン酸脱炭酸酵素の改良	第73回 日本生物工学会大会	—	高木啓詞
学会誌及び専門誌への投稿				
R3. 7. 19	Glutathione fermentation by <i>Millerozyma farinosa</i> using spent coffee grounds extract and seawater	—	Bioresource Technology Reports Volume 15, September 2021, 100777	岩原健二
R3. 8. 20	Degree of Muscle-and-Tendon Tonus Effects on Kinesthetic Illusion in Wrist Joints towards Advanced Rehabilitation Robotics	—	Robotica	本多正計
R3. 9. 21	Design of a full-consensus glutamate decarboxylase and its application to GABA biosynthesis	—	ChemBioChem	高木啓詞
R3. 12. 9	Draft Genome Sequence of <i>Lactiplantibacillus plantarum</i> NMZ-1139, isolated from mash of whisky	—	Microbiology Resource Announcements	高木啓詞 勝山 聡 鈴木雅博 横澤 賢 岩原健二
一般誌等への投稿				
R3. 12. 1	微生物ライブラリーを活用した静岡県内産業の活性化	—	NBRCニュース	岩原健二
展示会への出展				
R3. 10. 13 ~10. 15	食の都しずおかの微生物を用いた新しい発酵食品ビジネスの創出	BioJapan2021 NITE ミニ講演会	—	岩原健二
R3. 11. 11	医療機器開発を支援するための鍛造シミュレーションシステムの構築	富士山麓産学官金連携フォーラム2021	—	本多正計 飯塚千佳世
	静岡県工業技術研究所沼津工業技術支援センターにおける医療機器開発支援			本多正計

年月日	項 目	発 表 会 名	発表刊行物	発表者名
R3. 11. 12 ～13	しずおか有用微生物ライブラリーを活用した静岡サワービールの開発（Ⅲ）一試作品の製造及び評価一	第11回産業振興フェア inいわた	—	バイオ科 機械電子科
	鍛造シミュレーションの高精度化に向けた取り組み一 生体適合性材料（チタン合金）の材料特性データの活用一			
R3. 11. 25	海洋資源からのサワービール及び生醗系清酒用乳酸菌の選抜	第16回静岡県東部テクノフォーラムin沼津高専	—	本多正計 飯塚千佳世
	静岡酵母HD-1と麹菌の組み合わせが清酒の主室に及ぼす影響			
	医療機器開発を支援するための鍛造シミュレーションシステムの構築			
	データアルゴリズムを活用した画像認識AIにおける効率的学習手法の開発			
R4. 1～ R4. 2	食の都しずおかの微生物を用いた新しい発酵食品ビジネスの創出	関西ビジネスマッチング2021		岩原健二
合計件数 17 件		学会等発表 1 件・投稿等 5 件・展示会 11 件		

(c) 富士工業技術支援センターの実績 (※はポスター発表)

年月日	項目	発表会名	発表刊行物	発表者名
学会等への発表				
R3. 6. 24	トイレトペーパーほぐれやすさ試験機の技術開発	第88回紙パルプ研究発表会	—	齊藤将人 齊藤和明 深沢博之 杉本芳邦
学会誌及び専門誌への投稿				
R3. 5. 1	再生紙の低密度化に関する研究	—	紙パルプ技術タイムス	齊藤和明 深沢博之 齊藤将人 杉本芳邦
一般誌等への投稿				
R3. 11. 12	CNFに関する地域企業支援の取り組みの現状	—	セルロースナノファイバー研究と実用化の最前線	飯野 修
R4. 3. 22	リファイナーを用いたCNF製造の試み	—	月刊JETI	河部千香
展示会への出展				
R3. 10. 16	次世代自動車軽量化のためのCNF複合材の開発	富士市CNFプラットフォームビジネスマッチング会	—	大竹正寿
	リファイナーを用いたCNF製造の試み			河部千香
R3. 11. 11	異種材料接合のための新型プラズマ照射装置の開発	富士山麓産学官金連携フォーラム	—	高木 誠
	センター紹介			三宅健司 高木 誠
R3. 11. 12 ～13	次世代自動車軽量化のためのCNF複合材の開発	第11回産業振興フェアinいわた	—	大竹正寿
	新型プラズマ照射装置「ぷらじろう」			高木 誠
R3. 12. 1～ R4. 2. 28	次世代自動車軽量化のためのCNF複合材の開発	ふじのくにCNF総合展示会	—	大竹正寿
	リファイナーを用いたCNF製造の試み			河部千香

年月日	項目	発表会名	発表刊行物	発表者名
R3.12.7～ R3.12.9	次世代自動車軽量化のためのCNF複合材の開発	ナノセルローズ展（エコプロ2021）	—	大竹正寿
	リファイナーを用いたCNF製造の試み			河部千香
R4.1.26～1.28	次世代自動車軽量化のためのCNF複合材の開発	国際ナノテクノロジー総合展	—	大竹正寿
合計件数 15 件		学会等発表 1 件・投稿等 3 件・展示会 11 件		

(d) 浜松工業技術支援センターの実績 (※はポスター発表)

年月日	項 目	発 表 会 名	発表刊行物	発表者名
学会等への発表				
R3. 5. 26	マイクロチップレーザによる高張力鋼の残留応力と疲労特性の改善	ショットピーニング技術協会2021年度学術講演会	講演資料	鷺坂芳弘
R3. 6. 4	サブナノ秒マイクロチップレーザを用いたレーザーピーンフォーミング (第7報 照射密度の影響)	2021年度塑性加工春季講演会	講演論文集	鷺坂芳弘
R3. 9. 15	小型レーザーを使用したレーザーピーニングの高張力鋼への適用	日本機械学会M&M2021材料力学カンファレンス	講演論文集	鷺坂芳弘
R3. 9. 21	マイクロチップレーザによる高張力鋼の残留応力と疲労特性の改善	2021年度精密工学会秋季大会講演会	講演論文集	鷺坂芳弘
R3. 9. 21	光学シミュレーションによる積分球のSRDFの検討	2021年度照明学会全国大会	講演論文集	志智 亘
R3. 9. 23	カラーイメージングによる表面粗さ推定に関する研究	2021年度精密工学会秋季大会講演会	講演論文集	中野雅晴
R3. 9. 24	THz波による樹脂の光学異方性計測に関する研究			太田幸宏
R3. 10. 10	Improvement of residual stress and fatigue properties of high strength steel by low pulse energy microchip laser	Photonics Asia 2021	—	鷺坂芳弘
R3. 10. 30	レーザーピーンフォーミングにおける曲げ角のばらつき要因	第72回塑性加工連合講演会	講演論文集	鷺坂芳弘
R3. 12. 2	Dependence of Diffraction Efficiency on Temperature in Plastic Diffractive Lens for LED Lighting	The 6th International Symposium of Biological Engeneering	要旨集	志智 亘
R3. 12. 11	炭素繊維強化複合材(CFRP)の高効率成形技術～細断したUDテープを用いた圧縮成形条件の検討～	第34回東海支部若手繊維研究会	—	森田達弥
R4. 3. 1	回折樹脂レンズの医療用照明応用に向けた検討	2021年度生体医歯工学共同研究拠点成果報告会	予稿集	志智 亘
R4. 3. 17	カラーイメージングによる表面粗さ推定に関する研究 (第2報)	2022年度精密工学会春季大会講演会	講演論文集	中野雅晴

年月日	項 目	発 表 会 名	発表刊行物	発表者名
学会誌及び専門誌への投稿				
実績なし				
一般誌等への投稿				
R3. 6. 1	「金型づくりにおける熱ひずみ・熱変形の計測」	金型づくりにおける計測技術の再前線	型技術誌 2021年6月号	長津義之 針幸達也
R3. 7. 22	共焦点顕微鏡と接触式測定機で測定した表面粗さの等価性評価	—	月刊 J E T I	中野雅晴
R4. 3. 1	不具合解析及び品質管理におけるアルマイト皮膜の評価方法－表面及び断面観察について	—	アルミニウム研究会誌	田光伸也 吉岡正行 植松俊明
展示会への出展				
実績なし				
合計件数 16 件		学会等発表 13 件・投稿等 3 件・展示会 0 件		

(2) 令和3年度研究成果一覧

ア 工業技術研究所

区分 事業名	研究テーマ (細目) 研究内容	終了 継続 新規 廃止 の別	国庫 受託 単独 共同 の別	研究 期間	研究目的 背景等	研究成果	研究成果の活用及び 普及等の状況	備 考
新成長戦略研究事業	次世代自動車軽量化のためのCNF複合材の開発	継続	共同	R1 ～ R3	自動車部品へのセルロースナノファイバー(CNF)の活用が期待されているが、ポリプロピレン(PP)・CNFマスターバッチを入手できない、求める特性が得られないなどの課題に対応する。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	静岡大学 企業3社
新成長戦略研究	IoT導入支援のための技術拠点と先進事例モデルの構築	継続	共同	R1 ～ R3	県内企業のIoTへの関心は高いが、資金面や効果に対する不安から、普及が進んでいない。そこで、ポータブルIoT導入パックの開発、IoT検証ラボの開設、モデル工場の実現と効果分析により、導入を促進する。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業2社
新成長戦略研究	マリンバイオ産業を振興するための海洋由来微生物を活用した新たな食品開発	継続	共同	R2 ～ R4	マリンバイオ関連産業の振興を図るため、海洋微生物を活用した食品開発として、海洋由来の乳酸菌を活用して、清涼感等を増強した甘酒や発酵調味料等の開発を目指した。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	水産・海洋技術研究所沼津 工業技術支援センター 農林技術研究所畜産技術研究所環境衛生科学研究所 (一財)マリンオープンイノベーション機構 企業1社

新成長戦略研究	製造現場のWeb会議に活用できるリモート3Dスキャンの提案	新規	単独	R3	コロナ禍の現在、県内家電・自動車製造分野はリモートワークが促進されているが、検査等の実施が困難である。本研究では、離れた場所の3D点群データを取得し、観察、測定が可能となる手法を提案した。	フォトグラメトリや拡張現実(AR)、複数センサを活用した補助機能によりスマートフォンのカメラから3D点群データを取得、画面上から寸法測定が可能なりモート3Dスキャンアプリケーションを開発した。	開発したリモート3Dスキャンアプリにより、誰でも簡単に3D点群データを取得できるようになったことで、リモートワークの不満解消やリバーエンジニアリングの普及促進、他産業への応用展開が期待できる。	
新成長戦略研究	人とコミュニケーションを図る次世代車載装置用樹脂レンズの開発	新規	共同	R3 ～ R5	路面に図形を描画することで歩行者等にメッセージを伝える“コミュニケーションライティングシステム”の実現に必要な、超小型で超微細な樹脂レンズの製品化技術を開発する。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	
新成長戦略研究	水産加工残渣から抽出する機能性成分による腸内マイクロバイオームを介した免疫制御	新規	単独	R3	静岡県は水産加工の盛んな県だが、加工残渣の処理が課題となっている。加工残渣から抽出物を作製し生体での生理活性を明らかにすることで、新たな機能性食品としての活用を目指す。	加工残渣から高分子成分を抽出、濃縮しフリーズドライした粉末をマウスに投与したところ、腸内細菌叢の改善効果、腸内有機酸の増加、血中IgAの増加作用が見られた。	加工残渣抽出物に有用な生理活性が確認できたことから、機能性食品としての商品開発を目指す。	
県単独研究	農業実践例の大規模類似ネットワークに基づくナレッジベースの構築	継続	単独	R1 ～ R3	農業の現場において、ビニールハウス内を遠隔監視したいという要望が非常に高く、特に多数の生育環境の管理に必要なビニールハウス栽培では、IoT導入による作業者の負担軽減や病害予防が期待できる。	安価なデバイスを用い、バラ園のビニールハウス内の環境情報収集や遠隔モニタリングを実現した。また、収集したデータから熟練農家の暗黙知を形式知化するための技術を蓄積した。	低コストなIoTシステムの開発により、これまで普及が進まなかった農業や工場への展開が期待できる。また、データ変化点検出技術、写真自動判別技術の蓄積により、収集したデータの解析や知見の獲得が期待できる。	静岡県立大学 東京工科大学 神奈川大学 理化学研究所
県単独研究	セルロースナノファイバーによる機能性成分の徐放化と挙動解明	継続	単独	R2 ～ R4	セルロースナノファイバーの化粧品への添加によって付与される「香りの徐放性」の発現メカニズムを解明し、その制御技術を確認する。	・CNF添加による水/香り乳化について、ピッカリングエマルジョンの形成が確認された。 ・CNFの種類と香りの組合せによって、放散挙動が変化し、CNF乳化形態の違いが示唆された。	県内企業と共同で、県産の香りを利用した製品(雑貨や化粧品・食品等)や徐放性の技術を提案し、県内外に発信することで、研究成果の普及を図る。	

県単独研究	スキンケア素材の探索と機能性向上を目指した乳酸菌発酵	継続	単独	R2 ～ R3	静岡県の豊富な農林水産品から抽出されるエキス、種子油、香り等について、化粧品として有用な機能性素材を探索し、機能性発現の作用機序を明らかにする。さらに乳酸菌発酵により機能性強化を試みる。	数種の県産品に、肌の弾力維持や美白に対する機能性を見出した。白ひわ葉乳酸菌発酵エキスに光に対する皮膚保護効果があることがわかった。抗炎症効果のある素材を見出し化合物を特定し、作用機序解明に取り組んだ。	得られた知見を県内事業者に提供することで、化粧品・スキンケア商品への製品開発に取り組む予定。	静岡県立大学
県単独研究	豆乳タンパク質の新たな視点による挙動解析と濃縮技術開発	新規	単独	R3 ～ R5	植物性タンパク質源として注目されている豆乳は、加熱濃縮により凝集・固化しやすい問題点がある。このメカニズムを「液-液槽分離」の視点で解析することで、豆乳タンパク質が凝集しにくい濃縮技術を開発する。	非加熱生豆乳のpH及びNaCl添加条件を変化させた上で凍結融解させ、タンパク質成分を二相に分画できる条件を調べた結果、pH 5.8～6.7、NaCl添加濃度0～0.22 Mの範囲で分画可能であった。	得られた知見を県内事業者と共有し、新たな食品開発に取り組む予定。	
県単独研究	微細気泡散気方式を利用した省スペース型排水処理装置の開発	新規	単独	R3 ～ R4	本研究では、排水処理の低コスト化・装置のコンパクト化を実現するために、県内企業に設置したパイロットプラントでの処理実験を通じ、微細気泡散気方式で間欠曝気を行う新たな処理装置を開発する。	今年度は、低負荷条件で新たな処理装置を評価し、所定の水質の処理水を得るのに必要な曝気量が従来方式を下回ることを確認するとともに、活性汚泥の遺伝子解析から指標微生物を明らかにした。	県内排水処理設備メーカーを通じて新たな処理装置の普及を目指す。	
県単独研究	県産材の屋外使用に向けた防腐・防蟻処理技術の開発	新規	単独	R3 ～ R4	県産材の需要拡大に向けて、屋外で使用可能な木材の処理方法を開発する。薬剤処理木材の屋外環境での耐久性把握と、耐久性を向上させる技術を開発することにより、地域資源である県産材の利用拡大を図る。	スギ、ヒノキなどの県産材に薬剤（拡散型木材保存剤）を注入し、薬剤の浸透状況の確認（重量変化、呈色試験、元素マッピングなど）の実験計画を検討している。拡散型保存剤は、水で溶脱しやすいことが確かめられたので、固着型の薬品の併用を検討している。	県産材を使用する地域で薬剤処理する技術のため、地産地消が促進され、また、木材使用率の向上により脱炭素化社会・森林循環へ貢献できる。	
一般共同研究	樹脂中に含まれる微小な植物繊維の定量評価法検討	継続	共同	R1 ～ R3	公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業2社

一般共同研究	エアコン用圧縮機の省エネと小型化を両立する高強度軽量スクロール翼のニアネット鋳造技術の開発	継続	共同	R2 ～ R3	高圧鋳造技術を中核技術としてエアコンに要求される鋳鉄並みの機械的特性を有する軽量な高強度アルミニウム基複合材料の開発と3次元複雑形状を有するスクロール翼を造形するためのプロセス開発を行う。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業1社
一般共同研究	静岡県地域企業等へのIoT導入強化に関する研究	継続	共同	R2 ～ R4	現在取り組んでいる県内中小企業へのIoT技術の導入支援をさらに強化するため、産総研との共同研究を行う。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	産業技術総合研究所
一般共同研究	駿河湾由来カロテノイド生産微生物ライブラリーの構築とサプリメント開発への応用	継続	共同	R2 ～ R3	海洋微生物を活用したマリンバイオ産業創出と県内食品製造工場で発生する糖質系固体バイオマスの高付加価値利用技術の開発を目的として、カロテノイド生産海洋微生物の分離及び育種を行う。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	静岡県立大学 企業1社
一般共同研究	アルミニウム鋳造品用異種素材の固相接合技術の研究開発	新規	共同	R3 ～ R4	自動車産業では、EV化に伴う構造部材の大変革から、マルチマテリアル化による軽量化が要求されている。本研究では、アルミニウム鋳造品を用いた摩擦攪拌接合技術によりPCUカバーケースの実用化研究を行う。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業1社
一般共同研究	バイオマスプラスチックへのめっき技術の開発	新規	共同	R3 ～ R4	CO2排出量削減等に対応するため、ポリ乳酸等のバイオマスプラスチックが採用されている。自動車部品等で利用するためには耐食性等の付与が必要となるため、ポリ乳酸等へのめっき技術を開発する。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業1社
一般共同研究	介護サービスの質の向上を目指したトイレ介助機器の開発	新規	共同	R3 ～ R4	被介護者の自尊自立支援、介護者の負担軽減、安全性と作業効率化の両立を最大限に考慮しながら「介護サービスの質の向上を目指したトイレ介助機器」を新たに開発する。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	常葉大学 企業1社
一般共同研究	手術用頭部固定枕の開発	新規	共同	R3 ～ R4	手術中の体位変換や医療行為の際に、頭部を適切に保持して頸部損傷を予防する手術用頭部固定枕の製品化に向けて、製造面や衛生面に考慮した手術用頭部固定枕を開発する。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	静岡がんセンター 企業1社

一般共同研究	居住空間における木材・木製品等の変色に関する研究	新規	共同	R3 ～ R5	木材、木製品や建材などの変色に関するトラブルは多く、原因究明への相談が多い。 除菌剤などを含め、屋内で考えられる汚染要因と変色の発生について考察し、トラブルの対策法、防止策について明らかにする。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	
受託研究（競争的資金による研究） 課題提案型研究助成（スズキ財団）	複数場の同時制御プロセスによるリサイクル可能な超軽量マルチ部材の開発	継続	受託	R2 ～ R4	次世代自動車に要求される軽量部材を実現するために、温度と圧力の同時制御による異種材料を一体化により接合したマルチ部材の量産対応の工業プロセスを開発し、リサイクル技術まで確立する。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金による研究） 国際標準化事業（経産省）	フレキシブル面光源の性能評価のための光学特性測定に関する国際標準化	継続	受託	R2 ～ R4	フレキシブル面状光源の最大の特徴である形状の変容に対応した性能評価のための測光方法を研究し、国際電気標準会議（IEC）に規格原案を提案する。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	山研大学
受託研究（競争的資金による研究） MaOI事業化促進事業（県産業イノベーション課）	水産加工残渣抽出技術の検討	継続	受託	R2 ～ R3	公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金による研究） A-STEPトライアウト（JST）	地産地消型エネルギー循環システム構築を目指した脂質高含有廃棄物からの長期安定的エネルギー回収法の開発	継続	受託	R2 ～ R3	メタン発酵プラントの菌叢解析を行い、発酵の状態毎に特徴的に現れる微生物群と脂質分解反応の鍵微生物を特定した。フラスコ規模のメタン発酵試験によって脂質処理能力を飛躍的に高めた運転条件を確立した。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	産業技術総合研究所 企業2社
受託研究（競争的資金による研究） 試作品開発助成事業（次世代自動車）（県産業振興財団）	半熔融成形法により作製したヒートシンクの放熱性に関する研究開発	新規	受託	R3	次世代自動車では、蓄電池やパワーデバイスの高出力化・小型化に伴う熱マネジメントが必要とされている。本研究では、半熔融成形法により複雑・薄肉形状ヒートシンクを作製し、放熱性と実用性を評価した。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	静岡大学

受託研究（競争的資金による研究） 先端企業育成プロジェクト推進事業（県新産課）	バイオマス素材を原料とした白金担持炭素材料の開発	新規	受託	R3	バイオマス素材の一つであるキトサンを炭素原料とし、高活性な白金触媒を高分散母持した材料を開発する。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	静岡大学
受託研究（競争的資金以外の研究）	アルミニウム砂型鋳物の鋳造性に及ぼす鋳型砂に関する研究開発	新規	受託	R3	砂型鋳造したアルミ合金鋳物の品質は、砂型に使われる鋳物砂の特性の影響を受けるために、鋳物砂及び砂型の特性を明らかにする必要がある。本研究では、異なる砂材質を用いた砂型の熱特性と鋳物の品質を評価した。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金以外の研究）	オリーブ搾油残渣からの機能性素材の開発	新規	受託	R3	近年、静岡県内各地でオリーブ栽培が盛んになってきている。そこで、県産オリーブ果実の搾油時に発生する残渣から、食品や化粧品に活用する機能性素材を開発することを目的とした。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金以外の研究）	蒸留所から発生する高濃度廃液を利用した高効率メタン発酵手法の開発	新規	受託	R3	ウイスキー蒸留所から排出される蒸留廃水は糖分が多く廃水処理に負荷がかかっている。本研究では、蒸留所から排出される高濃度廃液を原料とし、高温メタン発酵を行い、高効率でメタン発酵するための条件を検査する。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	民間団体
受託研究（競争的資金以外の研究）	廃棄物を用いた微生物による水素発酵最適運転条件の検討	新規	受託	R3	発酵槽容積1トン規模の水素発酵リアクターの最適な運転条件の決定のため、実験室規模の水素発酵装置を用いた運転条件の検討を行い、リアクターの効率的な運転に必要な知見を得る。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金以外の研究）	未利用有機性廃棄物のメタン発酵適性評価	新規	受託	R3	鈴与菊川バイオガスプラントでメタン発酵処理する原料の多様化を目的として、新たな未利用有機性廃棄物のメタン発酵適性をフラスコ規模のメタン発酵連続試験で評価する。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社

受託研究（競争的資金以外の研究）	県産針葉樹材等の外溝部材利用に向けた処理条件の検討	新規	受託	R3	静岡県で年々増加している大径木の針葉樹材の活用方法として、外構部材利用に注目している。薬剤注入や乾燥方法、木口処理などの処理条件が、耐候性などのように影響するかの実証データを取得する。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金以外の研究）	皮革製品に適したツキ板加工技術の開発	新規	受託	R3	ツキ板で表面化粧した皮革製品は、ヒビ割れやヨレが発生しやすいが、木の風合いを活かした生活製品として、需要が期待される。そこで皮革製品の表面化粧に最適したツキ板を得る加工技術を開発する。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金以外の研究）	木材流動成形物の高強度化と高機能化	新規	受託	R3	“流動成形加工”は、木材を、樹脂や金属のように金型に沿って流動させて成形体を作製する加工技術である。本研究では、原料である木材に様々な添加剤を加えることで、作製される製品の高強度化と高機能化を目指す。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金以外の研究）	連続式賦活炉により製造した木質活性炭の性能評価	新規	受託	R3	木質材料を原料とした活性炭を量産化するために、連続式の過熱水蒸気賦活炉を整備する。この連続式賦活炉に適した活性炭の製造条件を見出すために、様々な条件で作成される活性炭の性能評価を行う。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社

イ 沼津工業技術支援センター

区分 事業名	研究テーマ (細目) 研究内容	終了 継続 新規 廃止 の別	国庫 受託 単独 共同 の別	研究 期間	研究目的 背景等	研究成果	研究成果の活用及び 普及等の状況	備 考
新成長戦略研究	マリンバイオ産業を 振興するための海洋 由来微生物を活用し た新たな食品開発	継続	共同	R2 ～ R4	マリンバイオ産業振興ビジョンに基づく 本県海洋資源を活用した食品開発分野に おける新産業創出を目的に、当科では他 産地と差別化可能な海洋微生物を活用し たサワービール及び生酒系清酒の開発を 行う。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	水産・海洋技 術研究所 農村技術研 究所畜産技 術研究所環 境衛生科 学研究所 (一財)マリ ンオープン イノベーション 機構 企業1社
一般共同研究	本県独自の清酒用種 麴の開発フローの構 築	新規	共同	R3 ～ R5	県内の清酒業界からは、課題生や魅力の ある商品の開発に向けて、県独自の清酒 用種麴の開発要望が強く寄せられていた。 そこで本研究では、本県の清酒造りに 適した独自の清酒醸造用種麴の開発フ ローを構築する。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	(独)酒類総合 研究所 企業1社
一般共同研究	二軸引張試験を活用 した難成形材プレス シミュレーションの 高精度化	新規	共同	R3 ～ R4	EVシフトに向けた開発のリードタイム短 縮や開発コスト削減のため、2021年に JIS規格化された二軸引張試験により、 プレス成形シミュレーションの高精度化 を図る。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究(競争的資 金による研究) 産学官連携研究開発 助成事業(県産業振 興財団)	酵素-抗体融合体の 作製と評価	新規	受託	R3	結核菌を標的に高感度で迅速簡便な結核 診断システム(結核菌検出キット)を開 発するため、組換え酵素標識抗体生産方 法の確立を目指す。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社

受託研究（競争的資金による研究） 新成長産業戦略的育成事業 事業化推進助成事業（県産業振興基金）	成形シミュレーションによる成形条件の検討と成形後の材料評価	新規	受託	R3	成形シミュレーションを活用し、原材料形状を含めて最適な成形条件を検討する。また、加工中の熱やひずみによって材料状態が変化する可能性があるため、成形後の試料の材料状態を評価する。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金以外の研究）	有用微生物を活用した国産高麗人参エキスの加工技術開発	新規	受託	R3	委託企業では高麗人参エキス中の有効成分ジセンノサイドの糖鎖を効率よく加水分解する手法を探索しており、微生物発酵による検討を行うため本県所有の微生物ライブラリー等から有用な微生物の探索を行う。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金以外の研究）	医療用金属材料の強度試験方法の検討及び高温成形加工を活用した新たな加工方法の可能性調査	新規	受託	R3	強度試験を実施するために適切な保持治具形状を検討し、試験方法を確立する。また、製品の製造コストを削減するため、高温成形加工による新たな加工方法の可能性を調査する。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社

ウ 富士工業技術支援センター

区分 事業名	研究テーマ (細目) 研究内容	終了 継続 新規 廃止 の別	国庫 受託 単独 共同 の別	研究 期間	研究目的 背景等	研究成果	研究成果の活用 及び 普及等の状況	備 考
新成長戦略研究	次世代自動車軽量化のためのCNF複合材の開発	継続	単独	R1 ～ R3	自動車用部材等の成形に必要なマスターバッチを開発し、県内企業にマスターバッチの提供と製造技術の普及を行うことにより、企業のCNF関連産業への参入を推進する。	リファイナーにより安価で樹脂との複合化に適したなCNFを作製した。このCNFから、ポリプロピレン/CNF複合材のマスターバッチを作製し、これを原料に大型・複雑形状の自動車部材2種類が試作できた。	企業訪問、技術相談などを通して成果の普及を進めている。	静岡大学
県単独研究	段ボール古紙を使用した「茶色いトイレットペーパー」の開発	新規	単独	R3 ～ R4	再生トイレットの原料である上質古紙の確保が困難となる。環境面からリサイクルできないトイレット紙を古紙から安定して作ることは重要で、安価・豊富な段ボール古紙をトイレットの原料に使用するための技術開発等を行う。	県内製紙会社2社の協力工場の古紙処理方法に準じて、古紙処理・手すき実験を行った。実験の結果、段ボール古紙を使用するとゴミが多いもののトイレットペーパーの製品品質は問題無いことが分かった。	段ボール古紙を原料としたときの課題と解決策について検討し、協力工場実機でのテスト抄造に向けて提案し、普及に繋げる。	
一般共同研究	樹脂中に含まれる微小な植物繊維の定量評価法検討	継続	共同	R1 ～ R3	公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業2社
一般共同研究	CNF製造に関する解繊エネルギーの低減	継続	共同	R1 ～ R3	公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業1社
一般共同研究	古紙等のパルプ繊維を複合化したハイブリッド樹脂におけるCNF分散制御技術の確立	継続	共同	R1 ～ R3	公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業1社
一般共同研究	プラズマ照射による樹脂表面の新規改質技術の開発	継続	共同	R2 ～ R3	樹脂材料に塗装やめっき等を施す際、材質表面改質の前処理が必要となる。材料の表面改質では大きく複雑形状の樹脂の前処理用手法がなく、効率的で生産性の高い方法が求められている。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業3社

一般共同研究	深層学習を用いた画像解析による牛群中での子牛の疾病検知システムの開発	新規	共同	R3 ～ R5	近年の酪農では、個体ごとに管理する方式から、舎内で放し飼いをを行う群飼育に移行している。群飼育では、個体管理が難しく、疾病や怪我の発見が遅れば、生産効率の低下に繋がると懸念されている。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	畜産技術研究所 日本工業大学
--------	------------------------------------	----	----	---------------	--	-----------------	-----------------	-------------------

エ 浜松工業技術支援センター

区分 事業名	研究テーマ (細目) 研究内容	終了 継続 新規 廃止 の別	国庫 受託 単独 共同 の別	研究 期間	研究目的 背景等	研究成果	研究成果の活用 及び 普及等の状況	備 考
新成長戦略研究	新成長分野発展に貢献 する軽量高強度材料 (CFRP)の高効率成形加 工技術の確立	継続	単独	R2 ～ R4	炭素繊維強化複合材料の短時間成形が課題 となっており利用・普及が進んでいない。 そこで、大量生産に対応した成形加工技術 を確立し、軽量素材としての利活用の促進 を図る。	CFRPの中間基材を高効率で製造す る条件を確立した。中間基材を細 断して圧縮成形したテストピース の曲げ強度について、目標の 500MPa以上を達成した。	協力機関である浜松地域FRP事業 化研究会を通して会員企業等に技 術普及を進める。	
新成長戦略研究	人とコミュニケーション を図る次世代車載装 置用樹脂レンズの開発	新規	単独	R3 ～ R5	路面の図形を描画することで歩行者にメッ セージを伝える「コミュニケーションライ ティングシステム」の実現に必要な、超小 型で超微細な樹脂レンズの製品化技術を構 築する。	80 μ m角の異なる傾斜角と回転角 を持つプリズムを100x100個の2 次元アレイ状に配置し、1m後方の スクリーンに複数の図形像を投影 する光学素子を設計し、光造形技 術で実際製作した。	開発した技術を活用して、高品 質・高付加価値の車載光学製品を 創出する県内企業を支援する。	
県単独研究	ダイヤモンド焼結体 (PCD) 工具のレーザー 加工技術の開発	継続	単独	R2 ～ R3	超短パルスレーザーによるPCD加工につい て、ダイヤモンド層とグラファイトなど変 質層の割合等の表面性状及び刃先丸み等の 外觀形状と、工具寿命との相関を調べ、 PCD工具のレーザーによる加工手法を確立 する。	寿命試験の結果、レーザー加工法 で刃先を形成した工具の方が従来 の油放電加工法のそれと比べ、摩 耗量が少ないことがわかった。従 来より長寿命の刃を形成するレー ザー加工技術の開発に成功した。	刃先の形成手法と工具寿命の相関 について、学会発表、論文投稿、 展示会出展などで普及を図ってい く。また、事業化に向けて、技術 調査を継続する。	科学研究費助 成事業
県単独研究	3D熱変形計測技術を 応用した次世代自動車 用部品の開発プロセス の効率化	継続	単独	R2 ～ R3	3D熱変形計測・評価技術、熱変形予測シ ミュレーション技術を活用して、企業が取 り組む次世代自動車部品の開発プロセスの 効率化を支援する。	自動車用樹脂部品の熱変形の経時 変化を恒温槽の観察窓から3D計測 装置を活用して測定した。測定結 果はシミュレーションの予測精度 向上に利用された。	次世代自動車用部品を開発する企 業に対して、3D計測装置による 試験データを提供し、製品開発プ ロセスの効率化を支援している。	
県単独研究	車載機器EMC試験にお ける測定値のサイト間比 較による測定信頼性の 向上	継続	単独	R2 ～ R4	平成30年度に車載機器用のEMC試験を行う 試験施設を開所した。本施設で得られる試 験データの信頼性を保証するため、他の試 験サイトと同条件の試験を行い、サイト間 の「測定値のずれ」を比較する。	KEC関西電子工業振興センターの アンテナ照射イミュニティ試験の 計測プロジェクトに参画し、全国 の著名なメーカーや民間の試験サ イトと比較することにより、当サ イトでの取得データの傾向が把握 できた	利用者に対して当サイトで得られ るデータの信頼性を担保すると もに、その試験データの傾向につ いて情報提供を行う。	

県単独研究	多波長イメージングによる高速表面粗さ測定法の開発	新規	単独	R3 ~ R4	大面積の表面粗さを短時間で評価できる官能検査は、定量的な品質管理に課題がある。本研究では、試料表面の色を高精度にイメージング測定することで、巨視的な表面粗さの違いを定量測定する方法を確立する。	試料表面の色彩測定に影響を与えない因子を明らかにした。品質工学のパラメータ設計手法を用いてこれら因子の値を最適化することで、測定系のSN比と感度が共に7db改善した。	研究で得られた知見を活用して、2次元色彩計を用いた粗さ測定機の開発を目指す研究協力企業の製品開発を支援した。また、研究成果を学会で2件発表した。	科学研究費助成事業
県単独研究	材料評価・解析における技術継承を目指した技術資料集の作成	新規	単独	R3	機器分析等で得られたデータについて、様々な要因（類似するデータが複数存在する等）で同定や判定・半別が困難な事例を中心に、材料評価・解析スキルの技術継承を目指した技術資料集を作成する。	FT-IRをはじめとする機器分析、金属材料試験等に関連する評価解析事例を80件以上記した技術資料集を作成した。	材料科内で情報共有・技術継承し、依頼試験・技術相談において活用することにより、サービスの質の向上と対応時間の短縮に繋がっていく。	
県単独研究	めっきを利用した鉄-アルミニウム接合技術の開発	新規	単独	R3 ~ R4	通常のスポット溶接法では、鉄とアルミニウムを十分な強度で接合することが難しい。ニッケルめっきを施した鉄とアルミニウムを汎用スポット溶接機を使用して接合する技術を開発する。	生産条件を踏まえた鉄板とアルミニウム板のスポット溶接に適した電流値を見出した。スポット溶接による接合を行い、表面粗さの大きいラフネスめっき条件で、目標とするせん断強さを得た。	県内部品メーカーが本技術を利用することで、次世代自動車等で望まれる軽量化技術に関し、マルチマテリアル化への対応が可能となる。	
一般共同研究	マイクロテクスチャエンドミルの主軸反転傾斜切削による超微粒パウダー製造技術の開発	継続	共同	R1 ~ R3	超短パルスレーザーを用いてPCD切削工具に微小テクスチャを付与し、工具回転軸を正逆に傾斜した切削技術と組み合わせることで、微小かつ任意の大きさの切り粉をパウダーとして効率的に製造できる技術を開発する。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	東京電機大学 光産業創成大学院大学 企業1社 戦略的基盤技術高度化支援事業
一般共同研究	眼鏡レンズのレーザー染色におけるスマート加熱	継続	共同	R2 ~ R3	眼鏡レンズのレーザー染色において、均一な染色を実現するためには、レンズ表面の加熱制御が重要である。そこでレンズ表面を均一に加熱できるレーザー出力の制御方法を提案・検証し、有効性を示す。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業1社
一般共同研究	高周波焼入ロボットの研究開発	新規	共同	R3 ~ R4	高周波焼入の熟練作業者が減少し、加工品質の確保と納期・コストの悪化が課題となっている。本研究では、多品種・少量生産のカム部品に対して、最適な焼入作業を自動で行う高周波焼入ロボットの開発を行う。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社 産学官連携開発助成事業 (公財) 静岡県産業振興財団

受託研究（競争的資金以外の研究）	生分解性プラスチックの紡糸に関する研究	新規	受託	R3 ～ R4	生分解性プラスチックのモノフィラメントを作製し、近年国際的な注目を浴びている海洋ごみ対策に対応した釣り糸の開発を目的とする。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金以外の研究）	母材表面の外観を維持したレーザー溶着技術の研究	新規	受託	R3	波長2μm帯の透明樹脂に適度な吸収があるためレーザー直接溶着が可能である。半面、変形等が生じることもあり委託企業の取引先が求める溶着が実現できてない。本研究で変形等の少ないレーザーの照射条件を求める。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金以外の研究）	高粘性液剤混入微小物のフィルトレーション	新規	受託	R3	高粘性のオイル・グリソ等の油剤に混入した微小固形物のフィルトレーションに適したフィルターを、FDM(熱溶融樹脂積層型3Dプリンタ)を用いて作製する。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金以外の研究）	画像判定AIによる各種異物の判定・分類等に関する研究	新規	受託	R3	各種異物サンプルの外観画像データと元素分析データを画像判定AIに学習させ、外観から異物の判定・半別・分類を行うことの有用性・有効性を検討する。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金以外の研究）	コイル圧縮成形による絶縁皮膜への影響	新規	受託	R3	巻き線技術だけを用いたモーターコイルの小型化には限界があるため、コイルにプレス成形することで安価でコンパクトなコイル作製を目標として、プレス成形時のコイルへの影響を検討する。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金以外の研究）	環境対応型クロムめっきの特性評価	新規	受託	R3	一般的なクロムめっきには有害な6価クロムが使われており、環境対応型クロムめっきへの代替が望まれている。この特性を明らかにするため、環境対応型クロムめっきで作製した試料について様々な評価を行う。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金以外の研究）	熱による多層めっきの拡散挙動の検証	新規	受託	R3	多層めっきでは、熱処理により各層のめっき厚さや金属の性質が影響し合い複雑な拡散挙動を示す。多層めっきが施されたセラミックス素子に熱処理を行い、めっき金属の拡散挙動を検討する。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社

受託研究（競争的資金以外の研究）	高比重成形材を用いた成形品の高弾性率化	新規	受託	R3	高比重の金属粉末と強化繊維を混合した高比重プラスチックに対し、更なる高弾性率化を図る。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
------------------	---------------------	----	----	----	---	-----------------	-----------------	------

静岡県工業技術研究所

〒421-1298 静岡市葵区牧ヶ谷2078

TEL 054-278-3028 FAX 054-278-3066

静岡県工業技術研究所

沼津工業技術支援センター

〒410-0022 沼津市大岡3981-1

TEL 055-925-1100 FAX 055-925-1108

静岡県工業技術研究所

富士工業技術支援センター

〒417-8550 富士市大淵2590-1

TEL 0545-35-5190 FAX 0545-35-5195

静岡県工業技術研究所

浜松工業技術支援センター

〒431-2103 浜松市北区新都田1-3-3

TEL 053-428-4151 FAX 053-428-4160

令和3年度 年報
静岡県工業技術研究所

令和5年3月発行（2022）

編集・発行 静岡県工業技術研究所
企画調整部
〒421-1298 静岡市葵区牧ヶ谷2078
TEL 054-278-3028
FAX 054-278-3066